

# 環 境 経 済 部

環 境 政 策 課

生 活 環 境 課

農 林 課

観 光 商 工 課

観光まちづくり活動課

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や、市民、市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。また、本計画の計画期間が終了することから、第二次あきる野市環境基本計画を策定した。

(1) あきる野市環境審議会の運営

環境政策にかかる計画、報告書等について審議した。

開 催 日	内 容
平成28年 1月25日	第二次あきる野市環境基本計画（案）について（諮問）
2月22日	第二次あきる野市環境基本計画（案）について（答申）

(2) あきる野市都市環境審議会の運営

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議するが、諮問案件がなかったため、開催なし。

(3) 第二次あきる野市環境基本計画の検討

本計画を策定するに当たり、市民及び事業者の意見を反映するため、あきる野市環境基本計画市民検討委員会を組織し、検討を行った。

開 催 日	内 容
平成27年 6月17日	会議 1 あきる野市環境基本計画の評価について 2 第二次あきる野市環境基本計画の策定スケジュールについて
9月 9日	会議 1 第二次あきる野市環境基本計画の構成（案）について 2 「第1章 基本的事項」について 3 施策体系及び事業体系（自然環境分野）について
10月21日	会議 1 「第3章 望ましい環境像の実現に向けた取組」（自然環境分野）について 2 施策体系及び事業体系（生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野）について
11月30日	会議 1 「第2章 第一次計画の評価と望ましい環境像」について 2 「第3章 望ましい環境像の実現に向けた取組」（生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野）について 3 「第4章 推進体制と進行管理」について 4 各種取組や目標の記載方法について
12月18日	会議 第二次あきる野市環境基本計画（案）について
12月24日	市長報告 第二次あきる野市環境基本計画（案）を市長に報告

(4) あきる野市環境委員会の運営

ア 環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や、市、市民及び事業者の協働による取組の企画並びに推進を行った。

開催日	内容
平成27年 4月22日	会議 1 平成26年度実績及び平成27年度活動スケジュールについて 2 平成27年度施策進捗状況調査について 3 グリーンカーテンコンテストについて 4 リサイクルフェアにおけるゴーヤの苗・種の配布について 5 省エネ型生活10か条について
5月16日	リサイクルフェア（環境啓発コーナー）参加 1 グリーンカーテン用植物の苗・種の配布 2 グリーンカーテン啓発チラシ等の配布 3 緑の募金の呼びかけ
6月18日	会議 1 グリーンカーテンコンテストについて 2 環境基本計画施策進捗状況の点検について 3 環境委員会の位置付けについて 4 環境白書に掲載する環境調査について 5 環境家計簿について
7月27日	会議 1 環境委員会の位置付けについて 2 環境白書に掲載する環境調査について
8月10日～8月18日	グリーンカーテン啓発事業の実施 グリーンカーテンコンテストの現地確認
8月31日	会議 1 環境基本計画施策進捗状況の点検評価の確認について 2 環境基本計画に対する環境委員会からの意見のとりまとめについて 3 グリーンカーテンコンテストについて
9月15日	グリーンカーテン啓発事業の実施 グリーンカーテンコンテスト審査会の開催
9月25日	会議 1 グリーンカーテンコンテストの審査について 2 環境白書について 3 産業祭における「環境展」の出展内容について
10月30日	会議 1 産業祭における「環境展」の出展内容及び環境委員の参加について 2 生きもの会議について
11月7日～11月8日	環境展（産業祭エココーナー）参加 1 グリーンカーテンコンテスト結果等の展示 2 「ゴーヤのれしび」の配布 3 ゴーヤ入り蒸しパンの試食 4 外来種アンケートの実施 5 外来種対策の展示及び目撃情報の収集
11月 8日	グリーンカーテンコンテスト入賞者表彰 (産業祭会場)
12月 2日	「知る」活動 深沢地区の地域づくりの取組の視察
平成28年 2月 4日	会議 グリーンカーテンコンテストについて

イ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
環境基本計画推進業務	1 環境委員会運営支援	2,106,000
	2 環境白書の作成支援	

(5) あきる野市自然環境調査の実施

環境委員会の下部組織として、自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。自然環境調査部会は、平成28年3月18日付けで生きもの会議へ所管を移した。

ア あきる野市自然環境調査部会の運営

開催日	内容
平成27年 4月27日	1 平成26年度活動報告及び決算について
	2 平成27年度活動計画及び予算について
6月15日	1 自然環境調査部会と生きもの会議の位置付けについて
	2 生物多様性シンポジウムについて
10月19日	1 環境委員会委員の選出について
	2 生きもの会議委員の選出について
平成28年 3月30日	1 平成28年度以降の自然環境調査部会の活動について

イ 市民参加による調査の実施

自然環境調査の一環として、調査部会動物班の主催により、平井川において市民参加の水生物調査を実施した。

開催日	内容
平成27年 9月 5日	ガサガサで生き物調べ
	1 調査箇所 平井川(新開橋下流)
	2 参加者 市民 33人
	3 調査概要 淡水魚をはじめ多くの水生生物を採取(確認後放流)し、種別の採取数を記録するとともに、調査員による解説等を行った。

ウ 業務委託

件名	委託料(円)
自然環境調査業務	564,000

(6) 環境展(産業祭エココーナー)の実施

市民への環境啓発のため、環境委員会と共同で、産業祭エココーナーにおいて展示等を行った。

開催日	内容
平成27年11月 7日及び8日	1 グリーンカーテンコンテスト結果等の展示
	2 「ゴーヤのれしび」の配布
	3 ゴーヤ入り蒸しパンの試食
	4 外来種アンケートの実施
	5 外来種対策の展示及び目撃情報の収集

(7) 港区環境交流事業の実施

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体が交互開催で交流会を行っている。

今年度は、ボート体験とみつばちの巣箱見学を通じ、本市の豊かな自然環境について理解を深めた。

開催日	内容	会場
平成27年 7月31日	「ボート体験とみつばちの巣箱見学」 参加者	芝浦運河とTBS放送センター「みつばちあ」
	1 あきる野市 12人(小学3、4年生)	
	2 港区 15人(小学3、4年生)	

(8) グリーンカーテン普及事業の実施

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア グリーンカーテン用植物の苗・種の市民配布

リサイクルフェア会場内において、環境委員会と共同で、植物の苗・種の市民配布を行った。

開 催 日	内 容
平成27年 5月16日	リサイクルフェア（環境啓発コーナー） ゴーヤの苗・種の配布 1 苗 900ポット（1人3ポット、300人） 2 種 100袋（1人1袋、約12粒入） アサガオの種の配布 種 150袋（1人1袋、約15粒入）

イ 公共施設でのグリーンカーテンの実施

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、郷土館などの学習施設や保育園等にゴーヤの苗・種を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

ウ グリーンカーテンコンテストの実施

市民、市内事業者への普及啓発の一環として、環境委員会と共同でグリーンカーテンコンテストを実施した。

平成27年11月8日開催の産業祭会場にて受賞者の表彰を行い、賞状と副賞を贈呈するとともに、取組内容（写真等）について、環境展（産業祭エココーナー）、市ホームページ、市役所1階コミュニティホール、五日市出張所1階ロビーで展示した。

参 加 数	入 賞
1 住宅部門（個人） 17件	1 住宅部門（個人） 最優秀賞 1件、優秀賞 4件、特別賞 1件
2 団体部門 4件	2 団体部門 最優秀賞 1件、優秀賞 1件、特別賞 2件

(9) エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布するとともに、既にエコドライブ宣言をした方のマグネットシート貼付写真を市ホームページに掲載して、「エコドライブの輪」の拡大に努めた。

(ア) 参加者数 30人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

(10) 小さな子どもたちのおさんぽ会の実施

小さな子どもたちに、本市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、本市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、「小さな子どもたちのおさんぽ会」を実施した。

開 催 日	場 所	参 加 者 数
平成27年 4月29日	弁天山	9組25人
5月25日	大澄山	1組 2人
7月20日	草花公園	7組17人
9月23日	小宮ふるさと自然体験学校周辺	8組21人
10月18日	大澄山	4組13人

開催日	場所	参加者数
12月6日	横沢入里山保全地域	6組17人
平成28年3月21日	瀬戸岡歴史環境保全地域	9組24人

## 2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理及び緑化指導等を行った。

### (1) あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関して審議するが、審議案件がなかったため、開催なし。

### (2) 保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

#### ア 保存緑地等の管理

市の管理する保存緑地及び緑地について、業務委託等にて、剪定、整理伐採を行い、適正な状態を維持した。

件名	内容	委託料(円)
緑地等管理業務	剪定、整理伐採及び補修工事 26件	5,200,008

#### イ 保存緑地補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金を交付した。

件名	内容	補助金額(円)
保存緑地樹林地補助金	3箇所 7,677㎡	155,906
保存緑地屋敷林補助金	1件	10,000

### (3) 緑化の指導等

#### ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

500㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や、宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 5件

(イ) 宅地造成等に関する届出 18件

#### イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理などを行う。

新設、変更又は廃止の届出がなかったため、受理件数なし。

### (4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

#### ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

ボランティア、地域住民、農林業団体、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開催日	内容
平成27年9月4日	1 平成26年度活動報告及び平成27年度活動計画
	2 保全地域における希少種等保全策について
	3 アライグマ被害対策について
	4 平成27年度ホタル対応について
	5 東京都環境公社の業務について
	6 東京都多摩環境事務所の作業予定

イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

ウ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2 草刈・不法投棄物・一般ごみ回収などの保守管理	2,354,400
拠点施設管理・清掃等業務	1 拠点施設の入口及びトイレ等の開錠、施錠 2 施設内のトイレの清掃 3 施設内の清掃	857,466
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	70,416
支障木伐採等業務	1 地区内の支障樹木、枝等の剪定及び伐採 2 丸太柵及び土留柵の作成	550,800

3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きもの会議を新たに設置するとともに、外来生物対策等を実施した。

(1) あきる野市生きもの会議の運営

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行った。

開催日	内容
平成28年 3月18日	会議 1 生物多様性あきる野戦略について 2 あきる野市生きもの会議について 3 役員を選出について 4 会議の運営方法について

(2) 外来生物対策の実施

生態系に被害を与えている外来生物（アライグマ、ハクビシン）について、自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民目撃情報を基に生息場所を特定し、町内会・自治会、地権者等の協力のもと、市内全域で捕獲を行った。

実施日	内容
平成27年4月1日 ～平成28年3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 15地区 49箇所 ※ 1箇所について、1～3地点実施 2 捕獲実績 (1) アライグマ 18頭 (2) ハクビシン 12頭

(3) あきる野市生物多様性シンポジウムの実施

生物多様性あきる野戦略の推進に向け、本市の生物多様性を広く紹介するとともに、様々な視点から生物多様性の保全と活用を考える機会として、生物多様性シンポジウムを開催した。

開催日	内容	会場
平成27年 6月28日	1 あきる野の生物多様性を知る 森林レンジャーあきる野による報告 2 あきる野の生物多様性を考える パネルディスカッション 参加者 93人	五日市地域交流センター3階 まほろばホール

#### 4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策地域推進計画及びあきる野市第三次地球温暖化防止対策実行計画に基づく取組を推進した。

##### (1) 環境家計簿及び省エネ型生活10か条の改定

家庭における省エネの推進のため、環境家計簿及び省エネ型生活10か条を改定し、町内会・自治会を通じて配布するとともに、市ホームページに掲載した。

##### (2) 温室効果ガス排出量等の集計

ア 第三次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

##### イ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
地球温暖化防止対策進行管理集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標の状況などの点検 1 本年度実績の調査 2 前年度の実績値の全体集計 3 課・施設別点検報告	885,600

##### (3) 新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の交付

住宅用新エネルギー・省エネルギー機器の普及促進及び省エネルギーに関する意識の向上を図るため、住宅に機器を設置する者に対し、その費用の一部の補助を行った。

※燃料電池(エネファーム)についても補助を予定していたが、平成27年度は申請がなかった。

機器	設置基数	補助金額(円)
太陽光発電システム	22	1,545,000円
太陽熱利用システム	1	20,000
CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	10	300,000
潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)	4	60,000
ガス発電給湯器(エコウィル)	1	30,000

##### (4) 省エネ推進の取組

省エネモニターに登録している市民の家庭のデータを基にした二酸化炭素排出量、省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組などを市ホームページ等で紹介し、市民の省エネに向けた意識啓発を図った。

##### ア 省エネモニターの推進

省エネモニターに登録し、データを提供していただいた市民の家庭(129世帯)について、月々の二酸化炭素排出量を計算したグラフ等を作成し、各家庭に送付するとともに、登録世帯の二酸化炭素排出量、各エネルギー使用量の平均値などを算出し、省エネモニターの方が実施している「私のひと工夫」と合わせて、市ホームページにより市民に周知した。

##### イ 省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組の推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活10か条」や、エネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページ等により周知した。



環境政策課 環境の森推進係

1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想による地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。平成27年度は、15の町内会・自治会等により23箇所が実施されている。なお、「郷土の恵みの森づくり基本計画」については、平成27年3月に計画期間が終了するため、第二次計画を包含した計画として「あきる野市生物多様性地域連携保全活動計画」を策定した。この計画は、「生物多様性あきる野戦略」に示す望ましい姿の実現に向けた地域ごとの具体的な取組を掲げている。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	6	3.8	200	15	130,700
	大杉への探索路整備事業	3	0.6	100	7	93,660
自然を昔に戻す会	日向峰道補修等事業	6	1.5	0	0	37,800
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	6	3.0	0	11	97,900
	大野道補修事業	3	1.4	200	2	193,960
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	6	1.2	0	0	36,960
樽自治会	金比羅山接続登山道整備事業	5	0.6	50	5	56,640
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	5	1.2	150	6	99,720
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	5	4.0	0	11	39,000
	菅生北尾根周遊道整備事業	6	3.8	0	13	51,000
合 計		—	21.1	700	70	837,340

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	6	150,000
	南沢地区景観整備事業	6	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	6	150,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	3	100,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	5	300,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	5	300,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	5	300,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	5	300,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	5	300,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	5	300,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	2	300,000
自然を昔に戻す会	長岳尾根周辺景観整備事業	1	300,000
	日向峰地内景観整備事業	1	100,000
合 計		—	3,050,000

(3) イベントの実施・参加等

ア 協働の道を歩くツアー ～春の網代から高尾へ～

網代自治会が取り組む「弁天山公園周辺景観整備事業」と高尾自治会が取り組む「高尾神社周辺尾根道整備事業」を結ぶコースを利用し、森林レンジャーあきる野によるツアーを開催した。地域との協働で整備した道を歩き、そこにある文化や歴史、自然を解

説し、この地域の魅力を紹介した。

実施日 平成27年4月19日

参加者 13人

#### イ エコプロダクツ2015

平成27年12月10日から12日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されたオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」におけるエコプロダクツ2015に出展し、郷土の恵みの森づくり事業やあきる野市の多様な自然環境をPRした。

#### ウ 環境学習

##### (ア) 都立五日市高校総合学習「地球環境」講演

実施日 平成27年4月22日

場 所 都立五日市高校 視聴覚室

内 容 都立五日市高校2年生の総合学習「地球環境」の一環で、健全な森づくり、健全な森における生物多様性などについて森林レンジャーあきる野が講演を行った。

参加者 都立五日市高校2年生 145人

##### (イ) 市立増戸中学校 環境学習における講演

実施日 平成28年3月8日

場 所 市立増戸中学校

内 容 「自然を愛するマナーを育む、マナーを身につける」というテーマで、本市の多様な自然環境と野生動物の関係性について森林レンジャーあきる野が講演を行った。

参加者 市立増戸中学校2年生 82人

#### (4) 郷土の恵みの森づくり事業基金

郷土の恵みの森づくり事業の持続的な展開に必要な財源を確保するため、「郷土の恵みの森づくり事業基金」を創設し、市民や都民等からの寄附を積み立てている。

また、サントリーフーズ㈱、新四季創造㈱及びあきる野市の三者の契約に基づき、秋川溪谷瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を郷土の恵みの森づくり事業に指定寄附をいただいているとともに、日本山岳耐久レースの参加者からも指定寄附が寄せられている。

#### (5) その他の事業

平成27年11月7日、8日に開催したあきる野市産業祭において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物や滝・沢、巨木などの地域資源の写真展示を行った。

また、インターンシップ実習生の受入れを行うとともに、市内全小学校の校外学習や東京都山岳連盟自然保護委員の研修会に森林レンジャーあきる野が同行し、市内の自然環境や生物の多様性について解説した。

## 2 森林レンジャーあきる野

### (1) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成22年5月に専

門知識をもつ4人で組織する「森林レンジャーあきる野」を設置した。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会等が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源のもつ魅力を市内外に向けて発信している。

(2) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
平成27年 4月 2日	健康づくり市民推進委員会ブロック活動自然解説	57
4月14日	増戸小学校4年生校外学習	
4月16日	五日市小学校4年生校外学習	
4月19日	協働の道を歩くツアー	13
4月22日	都立五日市高校総合学習「地球環境」講演	145
5月30日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	
6月 2日	屋城小学校3年生校外学習	
6月 5日	日本インタープリテーション協会講座ゲスト参加	19
6月19日	東秋留小学校4年生校外学習	
6月20日	チェーンソー取扱講習会	7
6月27日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	
6月28日	あきる野市生物多様性シンポジウム	
7月11日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	
7月23日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	
7月26日	羽ヶ田町内会子供会環境学習	51
7月26日	チェーンソー取扱講習会	6
8月 3日	生物多様性保全に関する研究会視察対応	50
8月 4日	栗原市あきる野市中学生友好の植樹活動	
8月18、27日	学生インターン環境学習	3
9月 8日	西秋留小学校5年生校外学習	
9月11日	一の谷小学校3年生校外学習	
9月26日	新宿の森イベント（戸倉盆堀地区）	37
9月27日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	
9月28日	多西小学校3年生校外学習	
9月30日	秋川ロータリークラブ講演	26
10月 1日	草花小学校3年生校外学習	
10月 2日	日向峰地内景観整備事業（戸倉地区）	
10月 3日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	
10月3、4日	GTFグリーンチャレンジデー2015（新宿御苑）	
10月 7日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	
10月16日	南秋留小学校3年生校外学習	
10月17日	健康のつどい（森と子どものふれあい活動の情報提供）	
10月23日	増戸小学校4年生校外学習	
10月25日	チェーンソー取扱講習会	8
11月 6日	前田小学校3年生校外学習	
11月20日	サルギ尾根登山道補修事業（養沢地区）	
11月23日	チェーンソー取扱講習会	4
11月28日	サルギ尾根登山道補修事業（養沢地区）	
12月20日	高尾神社周辺尾根道整備事業（高尾地区）	
12月23日	チェーンソー取扱講習会	8

実施日	内 容	参加者数
平成28年 1月23日	高尾神社周辺尾根道整備事業（高尾地区）	
1月31日	チェーンソー取扱講習会	10
2月9日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	
2月27日	東京都山岳連盟研修会（外来種対策の現場）	14
3月8日	増戸中学校2年生環境学習	82
3月9日	長岳尾根周辺景観整備事業（乙津地区）	

### 3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置しており、町内会・自治会等が行う尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業の支援活動を行った。

#### (1) 隊員の構成

ア 人数 101人（平成28年3月31日現在）

イ 内訳

（ア）市職員 54人

（イ）市民 23人（うち企業1社2人）

（ウ）市民以外 24人

#### (2) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
平成27年 5月30日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	11
6月27日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	4
7月11日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	6
9月27日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	8
10月3日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	7
12月20日	高尾神社周辺尾根道整備事業（高尾地区）	12
平成28年 1月23日	高尾神社周辺尾根道整備事業（高尾地区）	4
合 計		52

### 4 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第5期森の子コレンジャー（公募で募集した小学4年生から6年生までの20人）が1年間活動した。

また、第3期、第4期森の子コレンジャーの同窓会として、自分たちが活動した森などの整備を行った。さらに、森の子コレンジャーが利用する昔道の整備を第5期森の子コレンジャーの保護者と協働で行った。

#### (1) 第5期活動状況

実施日	内 容
平成27年 5月14日	森の子コレンジャー保護者説明会（五日市出張所） ・年間の活動計画と活動方針について
5月17日	始動式、森の散策（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
6月7日	調査（痕跡、森、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
8月9日	どんぐり豊凶調査等（落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
9月13日	どんぐり豊凶調査等（落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
9月26日	「新宿の森・あきる野」下草刈り・ガイドツアー（有志：戸倉地区）

実施日	内 容
10月17日	健康のつどい（有志：あきる野ルピア） ・森と子どものふれあい活動の情報提供
10月25日	野鳥観察（有志：秋川地区）
11月15日	地形図を読図して金比羅登山
平成28年 1月17日	ビオトープと昔道の整備（小宮地区）
2月 7日	ビオトープと昔道の整備（小宮地区）
3月13日	終了式（小宮ふるさと自然体験学校）
3月26日	夜の森を体験する（三内地区）

(2) 第3期、第4期の活動及び第5期保護者との協働作業

実施日	内 容
平成27年12月 6日	第3期、4期同窓会（ビオトープと昔道の整備）
平成28年 3月27日	第5期保護者との協働作業（ビオトープへの昔道整備）

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

平成24年3月31日をもって廃校となった小宮小学校を、子供たちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場を提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るための拠点施設とするため、小宮ふるさと自然体験学校を平成24年9月1日に開校した。

本施設を拠点として、主に幼児や小学生を対象とした各種の自然体験事業等を実施している。また、「あきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例」を平成27年7月1日に施行しており、貸出施設として各団体に使用されている。

(1) 自然体験事業等

内 容	利用人数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	67
市内小中学校の自然体験事業	724
団体の自然体験事業（市内の団体）	916
団体の自然体験事業（市外の団体）	609
森の子コレンジャー	130
視察（東京都）	3
見学（校内見学）	496
合 計	2,945

(2) その他イベント等

内 容	利用人数
ふれあい交流事業	620
スポーツ開放（体育館：卓球、バスケットボール等）（平成27年6月まで）	64
スポーツ開放（グラウンド：グラウンドゴルフ等）（平成27年6月まで）	67
施設の貸出（平成27年7月から）	1,314
その他（自然体験事業下見、映画撮影支援等）	1,442
合 計	3,507

6 産学公の取組

(1) 産学公連携による森づくり

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成23年7月13日、「NECフィールドディング株式会社、明星大学及びあきる野市との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携して取り組んでいる。

菅生大沢地区の市が所有する山林では、豊かな里山へ再生することを最終目的として、ワークショップ方式で多様な意見を取り入れながら、整備が進められている。

(2) あきる野菅生の森づくり協議会

協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成23年8月8日、菅生町内会、明星大学、NECフィールドディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンター及びあきる野市により「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置された。平成24年度からは、この協議会に西多摩マウンテンバイク友の会が加わり、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討等を行うとともに、各種事業を実施した。

開催日	内容
平成27年 5月 7日	第14回協議会 1 平成26年度事業報告について 2 平成26年度決算報告について 3 平成27年度事業計画(案)について 4 平成27年度予算(案)について 5 平成27年度補助金申請状況について 6 「菅生子どもの森広場」について
12月 7日	第15回協議会 1 平成27年度事業の実施状況(4月～11月)について 2 今後の事業予定(12月～3月)について 3 協議会における各種事業について 4 その他

(3) 里地活性化事業

農産物の特産化について

高齢化や後継者不足等により耕作や手入れがされなくなった農地等を活用し、菅生地区の気候風土に適した農作物について、流通を意識して生産することにより、地域住民の連帯や経済的な助けとなるよう農産物の特産化に取り組んだ。

今年度は、菅生野菜として、トマト(フルティカ・アイコ)、シイタケなど21品目を栽培し、販売した。

販売については、市役所1階にある福祉喫茶「トライアングル」のほか、夫婦橋(菅生地区)横の協議会ハウスと特産化畑の無人直売所の3箇所で実施しており、地元からの需要も多く商品が足りない状況の時もある。また、直接注文が入ることもあるため、季節の野菜を箱詰めし、宅急便で送るなど、個別対応にも取り組んでいる。

農産物の栽培方法については、今年度から、苗を購入するのではなく、種を購入して苗栽培から取り組んでいる。その結果、トマトの苗以外は、ほぼ種から栽培している。

農作業については、特定非営利活動法人ふるさとの森づくりセンターのほか、NECフィールドディング(株)の社会貢献倶楽部(竹取物語)OB会の5人が週3日(月・火・木)実施している。

(4) 里山活性化事業

ア ワークショップ(保全活動と育成)について

あきる野市が所有する菅生大沢地区の山林を豊かな里山へ再生するため、ワークショップ形式で利活用の検討を進めるとともに、下草刈りや灌木類の伐採作業などを行った。

開催日	内容
平成27年 5月 9日	・NECフィールドディング(株)の社会貢献倶楽部(竹取物語)の活動と同社の新入社員研修の合同イベントとして、林内の下草刈りと灌木の伐採作業を行った。
5月31日	・明星大学の「環境基礎ゼミ」野外学習を実施した。竹取物語と西多摩マウンテンバイク友の会の指導により、林内のヒサカキなどの灌木の伐採等の作業を行った。
6月 6日	・下段部から中段部にかけて、灌木の伐採作業と伐採木の集積を行った。
6月27日	・中段部の灌木の伐採、下草刈り、枯損木の伐採、倒木の処理を行った。
9月 5日	・中段部の灌木の伐採、下草刈り、上段部の平坦地に植樹したサクラを覆っている夏草の刈払いを行った。
9月12日	・上段部の灌木伐採、散策路づくりを行った。
10月18日	・上段部の灌木伐採、散策路づくりを行った。
10月24日	・中段部の林内の灌木の伐採、下草刈り、枯損木の伐採、倒木の処理を行った。
12月 5日	・上段部の下草刈りと倒木の処理を行った。また、ブルーベリーとオリーブの苗木の植樹を行った。
12月12日	・上段部の灌木の伐採、散策路づくりを行った。
12月26日	・刈払機の取扱いの安全衛生講習を受講した。(2人)
平成28年 1月 6日	・刈払機の取扱いの安全衛生講習を受講した。(1人)
1月 9日	・上段部の下草刈りと散策路の整備、植樹したサクラの管理番号設定と手入れを行った。
1月12日	・刈払機の取扱いの安全衛生講習を受講した。(2人)
1月27日	・刈払機の取扱いの安全衛生講習を受講した。(6人)
2月11日	・上段部の下草刈りと散策路の整備、落ち葉溜めの作製と落ち葉掃きを行った。
平成28年 2月28日	・上段部に植樹したサクラ周辺が夏草に覆われてしまうので、防草シートの敷設を行った。
3月 5日	・12月の植樹で残ったオリーブの苗木の植樹とサクラ周辺に防草シートを追加で敷設した。

イ 農地との緩衝帯整備「人とケモノがよい距離のある里山づくり」事業

開催日	内容
平成27年 4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅生子どもの森広場から続く山林(屋敷林)から農地にかけて見通しを良くすることにより、野生動物が農地に近づきにくい環境を創出するため、竹藪や笹藪等の刈払いを行った。</li> <li>・伐採した広葉樹を活用するため、ほだ木として切り出し、きのこ菌の植菌作業を行った。</li> </ul>
5月24日	
6月13日	
7月25日	
9月20日	
10月17日	
11月 8日	
12月26日	
平成28年 1月11日	
2月16日	
2月21日	

ウ 自然環境教育について

体験事業や講座を通じて、森づくりや自然環境保全等の担い手を育成するため、環境教育イベントを実施した。

(ア) 菅生子どもの森広場

開催日	内 容
平成27年 5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所の安全を確保し、下草刈りを行い、現場で調達した竹を使い弓矢づくりを行った。</li> <li>・遊具づくりの材料を確保するため、ヒノキ2本の皮を剥くなど、巻枯し作業を行った。</li> </ul>
7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マウンテンバイクを使ったプログラムを実施する予定であったが、前日までの雨の影響により、コースのコンディションが悪く、活動の内容を変更した。</li> <li>・子どもたちと活動場所の危険箇所を確認し、危険な切り株などを除去し、各自で竹弓を作り飛距離を競うなどの活動を行った。</li> </ul>
9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の山を散策し、野生動物のケモノ道や痕跡を探索し、キノコの観察などを行った。</li> <li>・周辺の散策路がどこに続いているのか、散策路の探索を行うとともに、広場の下草刈りと竹の伐採を行った。また、ハンモックなど、広場に設置されている遊び道具のメンテナンスを行った。</li> </ul>
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天のため、活動を中止した。</li> </ul>
平成28年 1月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「菅生子どもの森広場」の周辺で冬に見られる植物（ひつつきむし）の観察を行い、事前に配布された「ひつつきむし図鑑」に掲載されている4種類を発見した。</li> <li>・遊具の補修を参加者全員で行った。</li> </ul>
3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菅生大沢でマウンテンバイクの体験と山林内のヒサカキの伐採体験を行った。</li> </ul>

(イ) 木こり講座

開催日	内 容
平成27年 6月20日	第1回 新規参加者を対象にチェーンソーの基本的な取扱いとメンテナンスについて実習を行った。また、伐採体験として、ヒノキを数本伐採し、皮剥きを行い、板引きの実習を行った。
7月26日	第2回 応用編として、前回伐採した材を使ったログテーブルづくりとして、丸太を組むための溝を削るなど、チェーンソーの扱い方の実習を行った。
9月12日	第3回 シイタケのほだ木の伐採場所である「菅生若宮子ども体験の森」において、熊笹や篠竹、低木等の刈払いを行った。
10月25日	第4回 7月の講座の続きとして、ログテーブル・ベンチづくりを行い、ログテーブル等を完成させた。
11月23日	第5回 「菅生若宮子ども体験の森」において、シイタケのほだ木とするコナラの伐採場所の除伐を行った。また、10本程度のコナラを伐採し、葉干しを行った。
11月24日、25日	・チェーンソー取扱いの安全衛生講習を受講した。(4人)
12月 8日、9日	・チェーンソー取扱いの安全衛生講習を受講した。(1人)
12月23日	第6回 葉干しをかけたコナラをシイタケのほだ木に切り出し、80から90本のほだ木をつくった。なお、幹の太いものは薪材として利用した。
平成28年 1月30日、31日	・チェーンソー取扱いの安全衛生講習を受講した。(3人)
1月31日	第7回 葉干しをかけたコナラをシイタケのほだ木に切り出し、100本以上のほだ木をつくった。



(ウ) 親子で体験「シイタケのほだ木づくりと駒打ち体験」

開催日	内容
平成28年 2月14日	「菅生若宮子ども体験の森」において、木こり講座のメンバーが伐採したコナラを使い、シイタケのほだ木づくりを親子で体験した。普段、何気なく食べているシイタケがどのように作られているのか実感できるイベントとなった。

エ 救急救命講習会

本協議会では、「菅生若宮子ども体験の森」などにおいて、小学生などの一般参加者を対象としたイベントを実施している。また、ワークショップや木こり講座などでは、山林内での灌木処理や下草刈り、ほだ木の伐採など、刈払い機やチェーンソーを使った野外での活動を中心に多くの方の参加を得ている。

こうした活動の中で、いつ起こるか分からない緊急事態に備えた訓練が必要であり、イベント等でスタッフとして参加した場合に緊急事態に対処できるよう、西多摩マウンテンバイク友の会の会員であり、アメリカ心臓協会公認インストラクターである二瓶哲彰氏を講師に救急救命講習会を実施した。

開催日	内容
平成28年 3月13日	心肺蘇生法の基本練習と、野外で起こり得る事例の対処法についての講習を行った。

7 秋川流域ジオパーク推進会議

秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての8つの地層がまとまった形で分布しており、それぞれの地層からは、ステゴドンゾウをはじめ、海や陸に生きた生物の化石が数多く発見されていることから、化石の宝庫といえる全国でも有数の地域である。

このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業など、地域の活性化を目指すため、秋川流域3市町村が連携して設置した「秋川流域ジオパーク推進会議」により、日本ジオパークの認定に向けた取組を進めている。

平成25年度、平成26年度に実施した人材育成（ガイド養成）講座の受講者の積極的な協力により、事業の推進が図られた。

(1) 秋川流域ジオパーク推進会議の開催

秋川流域ジオパーク構想を推進するため、秋川流域ジオパーク推進会議を開催した。

開催日	内容
平成27年 4月21日	1 平成26年度活動報告及び決算報告について 2 平成27年度活動計画（案）及び予算（案）について 3 今後の活動について

(2) 講座受講者による活動

ジオツアーの実施に向け、秋川流域を6ブロックに分け、講座受講者が各ブロック（班）に分かれてジオサイトの選定やジオツアーのモデルコース作り、秋川流域ジオサイトマップの改定に取り組んだ。

また、拠点施設となる「秋川溪谷戸倉体験研修センター」内の「秋川流域ジオ情報室」の展示室等の整備を行った。

開催日	内容
平成27年 4月14日	平成27年度の取組について協議
5月26日	平成27年度の取組について協議、班分け

開催日	内容
6月9日	全体での意見交換及び各班による検討
7月14日	全体での意見交換及び各班による検討
9月8日	全体での意見交換及び各班による検討
11月10日	班活動による調査・検討結果発表
12月8日	班活動による調査・検討結果発表
平成28年 1月7日	班長会議（年度末までの予定及び平成28年度の取組予定）
1月19日	ジオマップ作成の検討
2月9日	ジオマップ作成の検討
2月23日	班長会議（ジオマップ作成における各班の意見調整）
3月8日	秋川流域ジオ情報室の展示パネルの検討

### (3) イベント・講演会等

流域住民への周知を図るため、行政主催の各種イベントに参加するとともに、推進会議委員及び講座受講者の知識の向上を図るため、講演会を行った。

また、流域内のジオサイトが秩父多摩甲斐国立公園内に多く存在することから、公園を管理する環境省関東地方環境事務所との連携事業として、シンポジウムを開催した。

開催日	内容
平成27年 8月11日	講演会 講師 筑波大学大学院生命環境系 教授 久田健一郎 氏 テーマ 関東山地の秩父帯四万十帯付加体トラバース
8月22日	払沢の滝ふるさと夏まつり 秋川流域ジオパーク推進会議の取組をPRするため、秋川流域ジオ資源の展示を行った。
8月29日	あきる野ヨルイチ 秋川流域ジオパーク推進会議の取組をPRするため、秋川流域ジオ資源の展示及び化石鑑定、石のペンダント作りを行った。
10月4日	講演会 講師 千葉科学大学危機管理学部環境危機管理学科 教授 植木岳雪 氏 テーマ あきる野地域の第四系
10月31日、11月1日	日の出町産業まつり 秋川流域ジオパーク推進会議の取組をPRするため、秋川流域ジオ資源の展示を行った。
11月7日、8日	あきる野市産業祭 秋川流域ジオパーク推進会議の取組をPRするため、秋川流域ジオ資源の展示、化石レプリカ作りを行った。
平成28年 1月23日	秩父多摩甲斐国立公園 秋川流域ジオパーク構想シンポジウム 場所 五日市地域交流センター まほろばホール 内容 講演1 ジオとは？ 講師 公益財団法人 自然保護助成基金 主任研究員 目代邦康 氏 講演2 ジオガイドの仕事とは？ 講師 大島ジオパーク推進委員会委員 西谷香奈 氏 シンポジウム みんなで語ろうジオパーク

### (4) 日本ジオパークネットワークとの連携

日本ジオパークの認定に向け、平成26年6月6日付けで日本ジオパークネットワーク（JGN）に加盟したことから、JGNの事業に協力するとともに認定に向けた情報収集を図るため、全国大会、関東地区大会等へ参加した。

開催日	参加事業
平成27年 5月24日	日本地球惑星科学連合大会「ジオパークセッション」
10月27日、28日	日本ジオパーク霧島大会（第6回全国大会）
11月21日、22日	第3回日本ジオパーク関東地区大会（銚子大会）
平成28年 3月27日	栗原山麓ジオパーク認定記念フォーラム

(5) その他

秋川流域ジオパーク構想を流域内外に発信するため、ホームページを開設している。また、拠点施設となる「秋川溪谷戸倉体験研修センター」内の「秋川流域ジオ情報室」の開設に向けて整備を行った。

8 ホタルの里づくり

(1) ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている、河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会名	団体名	金額(円)
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
合計		216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履行期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

ウ 委託料 60,000円

9 東京の森と木WEBサイト

東京都、八王子市、青梅市、あきる野市、日の出町、檜原村、東京都森林組合及び東京都農林水産振興財団で組織する「東京の森と木WEBサイト実行委員会」により、「森」と「木」をキーワードに、WEBサイトの運営を通じて多摩地域を中心とした様々なコンテンツを魅力ある情報として発信し、森づくり並びに森をステージとした商品やサービスを担う人々の営みを応援するとともに、森を元気にする行動を促進した。

負担金 120,000円

10 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、市が発行する各種刊行物や各種イベント等において里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用している。そのデザインについては、事業者が各種商品に活用できるように、「森っこサンちゃん」の使用に関する要領を定めており、各種商品等に活用されている。また、「森っこサンちゃん」着ぐるみ使用基準を定めており、市のイベント等で活用している。



森っこサンちゃん

## (1) 各種商品(平成28年3月31日現在)

商 品 名	取 扱 店 舗
森っこサンちゃんまんじゅう	恵比寿屋、(有)中島屋、(有)菊屋
森っこサンちゃんサブレ	レ・ポルト・ドリ・フィナンシェ
Tシャツ	シンコースポーツ(株)、(有)印刷タジマ版下企画、 (株)久松機工
ポロシャツ	シンコースポーツ(株)、
メッシュキャップ	シンコースポーツ(株)
森っこサンちゃんストラップ	新四季創造(株)
ハンカチ	(有)印刷タジマ版下企画
ショッピングカーゴバッグ	(有)印刷タジマ版下企画
マグカップ	(有)印刷タジマ版下企画
エコバッグ	(有)印刷タジマ版下企画

## (2) 着ぐるみの活用

事 業	回 数				計
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
市が主催又は共催する事業	8	16	25	21	70
小学校、中学校が実施する事業	1	1	1	0	3
幼稚園、保育園が実施する事業	0	0	5	3	8
観光推進関連事業	6	7	11	12	36
商工推進関連事業	0	0	0	1	1
その他の事業	0	2	4	12	18
計	15	26	46	49	136

生活環境課 生活環境係

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（郡民の健康と安全を確保する環境に関する条例）の一部事務が都から委任されているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移

種 類	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
設置認可	2	3	2	3	0
変更認可	1	1	2	5	0

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種 類	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
設置届	2	4	6	2	3
変更届	1	2	1	1	0

(3) 地下水揚水量報告書提出件数

工 場	6	指定作業場	5	その他	8	合計	19
-----	---	-------	---	-----	---	----	----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数

(単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合計
特 定 工 場	64	53	117
特 定 施 設	357	182	539

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数

(単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合計
特 定 工 場	60	27	87
特 定 施 設	243	151	394

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 9件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 6件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数

現 象	平成25年度	平成26年度	平成27年度
悪 臭	12	7	6
汚 水	1	1	1
騒 音	20	18	21
ば い 煙	0	0	0
粉 じ ん	2	3	3
焼 却 行 為	31	37	45
そ の 他	105	79	95
合 計	171	145	171

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数

用途地域 公害種目		受 付									計
		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	
発生源別	工 場	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	指定作業場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設作業	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	一 般	84	6	1	6	0	2	1	0	65	165
	計	89	7	1	6	0	2	1	0	65	171

## (3) 空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

苦情受付件数	勧告件数	指導件数	草刈機貸出し件数
25	0	25	32

## 4 環境調査

## (1) 秋川・平井川河川水質調査&lt;年間4回(※1)実施の平均値&gt;

項目・単位		PH 水素イオン濃度	BOD 生物化学的酸素要求量	SS 浮遊物質	DO 溶存酸素量	大腸菌群数
地点・年度		—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋 (秋川)	26年度	7.7	0.6	<1.0	10.8	920
	27年度	7.4	<0.5	<1.0	10.5	998
落合橋 (秋川)	26年度	7.8	0.6	<1.0	10.5	—
	27年度	7.4	<0.5	<1.0	10.3	—
沢戸橋 (秋川)	26年度	7.8	0.6	<1.0	10.6	—
	27年度	7.7	0.6	<1.0	10.4	—
秋川橋 (秋川)	26年度	7.9	0.5	<1.0	10.6	1,225
	27年度	7.8	0.6	<1.0	10.5	1,248
天王沢 (秋川合流点)	26年度	7.8	0.6	<1.0	9.7	—
	27年度	7.5	<0.5	<1.0	9.8	—
三内川 (秋川合流点)	26年度	7.8	0.6	<1.0	10.3	—
	27年度	7.6	<0.5	<1.0	10.2	—
清水荘前 (秋川)	26年度	8.0	0.6	<1.0	11.1	—
	27年度	7.8	0.5	<1.0	11.3	—
引田堰 (秋川)	26年度	8.0	0.6	<1.0	11.4	1,725
	27年度	7.6	0.5	<1.0	11.0	1,650
秋留橋 (秋川)	26年度	7.9	0.6	<1.0	11.0	—
	27年度	7.6	0.6	<1.0	10.6	—
東秋川橋 (秋川)	26年度	7.8	0.6	<1.0	10.9	1,073
	27年度	7.4	0.6	<1.0	10.6	1,498
舞知川 (秋川合流点)	26年度	7.8	0.6	1.8	9.8	—
	27年度	7.5	0.6	2.8	10.1	—
高橋上流 (養沢川)	26年度	7.7	0.6	<1.0	10.2	410
	27年度	7.5	<0.5	<1.0	10.1	410
五日市解体下 (養沢川)	26年度	7.5	<0.5	<1.0	10.3	490
	27年度	7.3	<0.5	<1.0	10.1	410
小宮小前 (養沢川)	26年度	7.7	0.5	<1.0	10.8	—
	27年度	7.4	<0.5	1.3	10.8	—
観音橋 (平井川)	26年度	8.0	0.6	<1.0	11.0	2,200
	27年度	7.7	0.6	1.5	10.5	2,025
小宮久保橋 (養沢川)	26年度	7.9	0.7	<1.0	11.1	—
	27年度	7.7	0.6	<1.0	10.6	—
新開橋 (平井川)	26年度	7.7	0.6	1.3	10.6	—
	27年度	7.5	0.5	1.5	10.8	—
多西橋 (平井川)	26年度	8.2	0.6	<1.0	11.5	1,210
	27年度	7.9	0.6	1.3	11.8	1,775
鯉川橋 (鯉川)	26年度	7.6	0.7	1.8	10.4	—
	27年度	7.4	0.6	1.3	10.4	—
氷沢川ヒル橋 (氷沢川)	26年度	7.8	0.8	4.0	10.4	—
	27年度	7.5	0.7	1.5	10.3	—
参考値(※2)		6.5~8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/100ml以下

(※1) 採水日：平成27年5月8日、8月3日、10月29日、平成28年2月9日

(※2) 参考値は河川A類型(平井川)の環境基準値である。

(※3) 大腸菌群数以外の項目は、環境基準を満たしていた。なお、大腸菌群数には土壌や植物由来のものが含まれており、経年変化でみると急激な数値の上昇は見られないが、今後も経過観察していく。

(2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査（採取日 平成28年2月25・26日）

項目・単位 調査場所	PH	BOD	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌群数
	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏' (※2)	-	-	-	-	-
真城寺	6.7	<0.5	4.41	0.02	23
白滝神社	6.5	<0.5	4.24	0.02	33
牛沼287	6.3	<0.5	3.95	0.01	49
雨間698	6.1	<0.5	3.48	0.01	49
秋川グリーンスポーツ公園前	6.0	<0.5	2.33	0.02	70
小川820	6.1	<0.5	5.74	0.02	70
平沢617	6.0	<0.5	6.85	0.01	79
広済寺付近	6.1	<0.5	7.32	0.01	110
二宮お滝	6.3	<0.5	5.83	0.02	140
二宮神社お池	6.3	<0.5	7.32	0.02	110
八雲神社	6.4	<0.5	7.00	0.03	110
草花公園	6.2	<0.5	3.79	0.01	49
草花1127	6.2	<0.5	3.79	<0.01	49
草花小学校西	6.8	0.6	3.54	0.02	79
菅生夫婦橋下	6.1	0.5	5.92	0.03	130
折立坂	6.6	0.5	3.19	0.04	49
南秋留小横	7.1	0.7	2.88	0.03	140
ミュキ組宿舎（西）	7.2	<0.5	3.88	0.02	70
舞知川	6.6	0.5	1.48	0.02	70
広済寺下	6.4	<0.5	6.76	0.03	110
玉見ヶ崎公園隣	6.9	0.6	7.08	0.03	110
養沢川	7.0	<0.5	1.07	0.02	140
盆堀川	6.8	0.5	1.00	0.02	110
入野沢	6.8	0.5	2.87	0.05	70
北裏水路	6.6	<0.5	3.72	0.03	140
樽沢	7.0	0.6	2.92	0.02	110
宮の入沢	7.0	0.5	2.51	0.01	110
横沢	6.7	0.6	1.68	0.02	110
引谷川	7.1	0.5	1.52	0.03	49
溝ッ堀	6.7	0.5	2.89	0.02	70
北川原	6.8	0.8	2.77	0.02	79
ふれあい橋	6.8	0.6	1.08	0.02	170
鯉川合流	7.0	0.7	2.40	0.03	79
氷沢川	6.9	0.6	1.38	0.02	170
新開橋下	6.5	0.8	2.63	0.02	49
参考値 (※1)	6.5~8.5	2mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	1,000MPN/100ml以下

(※1) 湧水の環境基準がないため、河川A類型（平井川）の環境基準値を参考値として記載する。

(※2) 山田八幡神社裏については、湧水が確認できなかったため調査を行っていない。

(※3) PH（水素イオン濃度）以外の項目は、参考値（河川A類型の環境基準）を満たしていた。

(3) 地下水汚染調査 (採取日 平成27年4月14日)

調査項目	調査地点	草花1	草花2	野 辺	雨 間	淵 上	伊 奈	留 原	環境基準 (水道水の水質基準)
		2672番地	1837番地	408番地	652番地	312番地	1133番地	83番地	
トリクロロエチレン	平成26年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03mg/l以下 (※1)
	平成27年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
テトラクロロエチレン	平成26年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l以下
	平成27年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
1,1,1-トリクロロエタン	平成26年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1mg/l以下
	平成27年度	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	

(※1) 平成26年11月より環境基準が「0.01mg/l以下」に変更となった。(平成26年環境省告示第127号)

(※2) 全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。

(4) その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査	年1回	6事業場
イ ゴルフ場周辺水質調査	年1回	2箇所
ウ 秋川・平井川大腸菌調査(ふん便性)	年1回	11箇所
エ 多摩川及び関連河川水質合同調査	年2回	2箇所
オ 秋川・平井川水生生物調査	年2回	6箇所

(5) 一般大気環境調査(ばいじん)

(単位mg/m<sup>3</sup>)

調査地点	平成25年度	平成26年度	平成27年度
屋 城 小 学 校	0.0447	0.0226	0.0442
農 業 会 館	0.0386	-	0.0381
一 の 谷 児 童 館	0.0364	0.0161	0.0231
いきいきセンター	0.0319	0.0129	0.0246
阿伎留医療センター	0.0273	0.0139	0.0252
秋川給食センター	0.0602	0.0167	0.0310
旧秋川衛生組合	0.0416	0.0179	0.0397
野 辺 地 内	0.0375	0.0145	0.0263
草 花 地 内	0.0389	0.0181	0.0362
あきる野市役所	0.0320	0.0149	0.0346
五日市センター	0.0239	0.0151	0.0204
留原自治会館	0.0198	0.0054	0.0130
五日市出張所	0.0224	0.0125	0.0200
横 沢 ク ラ ブ	0.0186	0.0105	0.0113
フ ァ イ ン プ ラ ザ	0.0383	0.0136	0.0234
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.10以下かつ1時間値が0.20以下であること		

(※1) 測定日: 平成28年1月28日~29日(24時間)

(※2) 平成26年度の農業会館については、改修工事のため測定していない。

(※3) 全ての地点で環境基準を満たしていた。



(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査 (簡易調査法 (フィルターバッジ法) による (単位: ppm)

地 点 名	5 月	9 月	1 1 月	2 月	平均値
野辺交差点	0.018	0.027	0.019	0.023	0.022
小川交差点	0.018	0.026	0.017	0.026	0.022
二宮本宿交差点	0.020	0.025	0.019	0.025	0.022
氷沢橋交差点	0.016	0.021	0.016	0.022	0.019
菅生交差点	0.022	0.019	0.017	0.024	0.021
上菅生バス停	0.009	0.008	0.005	0.012	0.009
瀬戸岡交差点	0.023	0.026	0.017	0.023	0.022
秋川交差点	0.015	0.023	0.016	0.023	0.019
秋川駅西踏切	0.019	0.025	0.021	0.027	0.023
油平交差点	0.018	0.023	0.019	0.025	0.021
秋留橋	0.025	0.020	0.016	0.020	0.020
湊上交差点	0.021	0.023	0.021	0.027	0.023
山田交差点	0.016	0.017	0.013	0.018	0.016
留原交差点	0.009	0.011	0.007	0.012	0.010
小中野交差点	0.013	0.012	0.008	0.012	0.011
十里木交差点	0.009	0.011	0.008	0.011	0.010
青木平橋入口	0.010	0.011	0.008	0.013	0.011
小宮小学校入口	0.005	0.004	0.002	0.006	0.004
五日市出張所	0.006	0.008	0.004	0.009	0.007
東町交差点	0.013	0.017	0.012	0.014	0.014
武蔵五日市駅前	0.015	0.018	0.010	0.016	0.015
小机バス停	0.019	0.016	0.014	0.019	0.017
季節の平均濃度	0.015	0.018	0.013	0.019	0.016
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.04~0.06までのゾーン内又はそれ以下				

(※) 全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

(7) 大気中ダイオキシン類調査 (単位: pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.017	0.010	0.60以下

(※1) 測定日 平成27年8月19日~8月26日 (168時間)

(※2) 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(8) その他の調査

- ア 工場等臭気調査 年1回 4工場
- イ 道路沿道環境調査 年1回 4地点 (交通量、騒音調査)
- ウ 採石場周辺環境調査 年4回 粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
- エ 事業所関連環境調査 対象事業所3社 (水質関係)

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月 別 ( ) 内は都内全域の件数 (単位: 件)

種 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	合計
学 校 情 報	0 (0)	4 (5)	1 (3)	8 (11)	3 (6)	0 (0)	0 (0)	16 (25)
注 意 報	0 (0)	1 (1)	0 (1)	2 (9)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	4 (14)
警 報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

イ 経 年 変 化

年度	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
注意報発令回数	2	3	9	3	9	8	5	4

5 空間放射線測定

(1) 定点測定

6箇所 周辺を含め20地点 12回測定実施(原則として月に1回)

(2) 山間部測定(五日市地区)

8箇所 16地点 12回実施(月に1回)

(3) 公共施設等測定(学校、公園等)

平成27年11月～平成28年1月頃実施 25施設/40地点 除染基準超過なし

※除染基準: 0.23  $\mu\text{Sv/h}$

6 生活排水対策事業

(1) 合併処理浄化槽設置事業補助金

人 槽	設置基数	補助単価(円)	補助金額(円)
5人	5	444,000	2,220,000
6～7人	0	486,000	0
8～10人	0	576,000	0
11～20人	0	1,092,000	0
合計	5		2,220,000

(2) 既存単独浄化槽撤去補助金

区分	撤去基数	補助単価(円)	補助金額(円)
既存単独浄化槽撤去補助	0	90,000	0

7 環境啓発事業

廃食用油からの石鹸づくり事業 年間10回実施

生活環境課 清掃・リサイクル係

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

行政区域 内人口	収集人口	収 集 量 (t)		収集日1日当 り収集量(t)	1人1日 排出量(g)	収 集 日 数
		可 燃 ご み	不 燃 ご み			
81,566	81,566	可 燃 ご み	18,465	177.548	618.5	104
		不 燃 ご み	358	14.917	12.0	24
		資 源	4,360	90.833	146.0	48
		内ハットホトル	106	1.019	3.6	(104)
		内小型電子機器	26	1.083	0.9	(24)
		有 害 ご み	36	1.500	1.2	(24)
		粗 大 ご み	604	6.163	20.2	(98)
		総 量	23,823	135.358	798.0	176

※「行政区域内人口」及び「収集人口」は、平成27年10月1日現在である。

※( )内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

(2) 犬猫死体処理

(単位：頭)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	32	36	9	77
無 料	4	354	267	625
計	36	390	276	702

※飼主のいる場合は有料(1頭につき2,200円)、飼主不明の場合は無料。

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・菅生・瀬戸岡・引田・淵上・秋川等
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集体数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	325	620	405	438	465	365	645
浦野産業(株)	596	574	553	541	503	451	706
松村ダスト(有)	244	372	310	393	267	295	380
合 計	1,165	1,566	1,268	1,372	1,235	1,111	1,731

  

業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
島田産業(有)	403	627	345	294	332	5,264
浦野産業(株)	492	762	394	422	496	6,490
松村ダスト(有)	317	380	240	221	217	3,636
合 計	1,212	1,769	979	937	1,045	15,390

(5) 生ごみ堆肥化処理機器購入費補助事業実績

器 種		基 数	補 助 金 額 (円)
生ごみ堆肥化容器(コンポスト容器)		27	53,000
内 訳	地 上 据 置 き 型	27	53,000
	土 壌 埋 設 型	0	0

## (6) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 平成27年度貸与数 116世帯 222個

イ 通算貸与数 2,507世帯 4,917個

## (7) 資源集団回収奨励金交付事業実績

回 収 量 (kg)						
紙類	布類	鉄類	アルミ類・銅等の金属	ビン類	ビンケース	合計
1,956,978	0	39,675	33,530	35,341	546	2,066,070
登録団体数		実施回数		売上額 (円)		奨励金 (円)
115		869		2,879,074		24,801,612

(奨励金：紙類等取引料5,870,934円含む。)

## (8) 減免用ごみ袋交付事業実績

該当項目	A	B	C	D	E	H	I	J	合計
減免世帯数	504	538	122	6	1,073	73	10	6	2,332

A 生活保護受給世帯

B 児童扶養手当受給世帯

C 特別児童扶養手当受給世帯

D 国民年金の遺族基礎年金受給世帯

E 65歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯

H 身体障害者福祉法により1級又は2級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

I 東京都愛の手帳交付要綱により、1度又は2度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

J 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

## (9) ボランティア袋配布事業実績 (1組10枚)

番号	配布場所		可燃		不燃		合計
			(大)	(小)	(大)	(小)	
1	生活環境課	配布組数	389	72	21	23	505
2	宿直室	配布組数	18	0	1	0	19
3	市民課窓口	配布組数	13	5	3	0	21
4	あきる野ルピア	配布組数	128	29	7	9	173
5	五日市ファインプラザ	配布組数	84	32	1	1	118
6	五日市出張所	配布組数	85	20	11	8	124
7	中央公民館	配布組数	7	3	2	0	12
8	いきいきセンター	配布組数	6	13	0	0	19
9	増戸会館	配布組数	0	0	0	0	0
10	西秋川衛生組合	配布組数	0	0	0	0	0
11	旧秋川衛生組合	配布組数	74	55	0	0	129
合計		配布組数	804	229	46	41	1,120

## (10) 廃棄物減量等推進員 (ごみ会議) 活動実績

ア 会議9回開催 (全体会議5回・編集会議4回)

イ へらすぞう発行1回

ウ 生ごみ減量PR

エ 生ごみ堆肥化講習会3回 70人参加

2 し尿処理事業

(1) し尿処理実績

(人口は平成27年10月1日現在)

行政区域内人口	収集人口	総収集量 (kl)	1日収集量 (kl)	1人1日排出量 (l)	収集日数
81,566	1,145	2,289	9.420	5.46	243

(2) し尿処理業者及び収集区域

業者	㈱スリーピングサービス	サンエー(有)	(有)五日市清掃
区域	二宮・草花・代継等	雨間・野辺・瀬戸岡等	伊奈・五日市・戸倉等

3 し尿浄化槽清掃費助成事業

(1) し尿浄化槽汚泥収集実績

(人口は平成27年10月1日現在)

行政区域内人口	収集人口	総収集量 (kl)	1日収集量 (kl)	1人1日排出量 (l)	収集日数
81,566	6,318	3,624	14.914	1.57	243

(2) し尿浄化槽清掃費助成実績

予算現額 (円)	助成総額 (円)	件数
6,200,000	5,968,950	748

4 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収入額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額
家庭ごみ	156,607,000	165,253,580	165,253,580	0	0	0
事業所ごみ	56,292,000	55,876,800	55,876,800	0	0	0
粗大ごみ	20,179,000	19,198,800	19,198,800	0	0	0
し尿	7,236,000	7,150,350	6,440,300	42,000	0	668,050
動物死体処理	176,000	176,000	176,000	0	0	0
合計	240,490,000	247,655,530	246,945,480	42,000	0	668,050

5 一般廃棄物処理施設見学

ごみ処理施設(西秋川衛生組合)

市内の小中学校等14団体729人が施設を見学した。

6 リサイクル関係事業

(1) 第40回あきる野市リサイクルフェア実施

ア 開催日 平成27年 5月16日 午前10時～午後3時

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 2,000人(推定)

エ 内容

(ア) フリーマーケット

出店数 101店

(イ) リサイクル品(家具等)再利用コーナー

無料抽選会 出品数38点

(ウ) 修理屋さんコーナー

a 包丁研ぎ 53件

b おもちゃ修理 28件

(エ) 資源集団回収団体表彰 (優良3団体)

(オ) ごみ会議コーナー

a 生ごみ堆肥化講習会 25人参加

b ごみ減量の啓発

(2) 第41回あきる野市リサイクルフェア実施

ア 開催日 平成27年11月 7日 午前10時～午後3時

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 16,000人 (推定)

エ 内容

(ア) フリーマーケット

出店数 93店

(イ) リサイクル品 (家具等) 再利用コーナー

無料抽選会 出品数52点

(ウ) 修理屋さんコーナー

a 包丁研ぎ 60件

b おもちゃ修理 35件

(エ) 展示コーナー

a 環境問題啓発絵画・ポスター作品展示

b 展示作品数 590作品

(オ) 環境コーナー

廃食油石けん 1,628個 (無料配布)

(カ) ごみ会議コーナー

a 生ごみ堆肥化講習会 23人参加

b ごみ減量の啓発

## 7 環境衛生事業

(1) 衛生害虫駆除

該当箇所なし

(2) ハチ駆除

防護服の貸出し 51件

(3) 不法投棄防止パトロール事業

週2回 (年間101日間) 2人1組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

ア 回収件数 1,030件

イ 回収量 13.45トン

ウ リサイクル法等対象投棄件数 41件

エ リサイクル法等対象投棄の内訳

(ア) 家電リサイクル法4品目処理件数 41件

(イ) パソコンリサイクル法品目処理件数 0件

(ウ) 自動車リサイクル法品目処理件数 0件

(エ) 処理不能件数 0件

(4) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実施日	作業名	内 容
平成27年 5月31日 11月29日	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協（五日市地区）、PTA等の協力により、春、秋の2回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 1 参加人員 第1回 16,170人 第2回 15,161人 2 ごみ収集量 第1回 22.66t 第2回 25.94t
平成27年 4月 1日 ～平成28年 3月31日	河川等ごみ 収集	あきる野市シルバー人材センター等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延人員 702人
平成27年 4月13日 ～平成28年 3月17日	団体による 河川等清掃	市内小中学校PTAにより、河川等の清掃を実施した。 参加延人員 5,443人（うち河川は1,287人）

8 斎場事業

(1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	44	58	55	49	68	60	68	58	93	84	66	69	772
日の出町	23	26	10	18	26	22	28	25	14	18	19	16	245
檜原村	3	4	3	1	9	4	6	3	4	3	7	8	55
奥多摩町	9	16	17	11	9	10	14	16	17	14	18	11	162
組合外	5	9	7	8	11	10	2	11	6	11	6	10	96
合計	84	113	92	87	123	106	118	113	134	130	116	114	1,330

(2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あきる野市	18	21	19	17	15	18	25	21	27	21	25	16	243
日の出町	10	12	6	12	10	8	11	6	5	7	7	7	101
檜原村	0	1	0	1	1	0	1	3	1	0	3	2	13
奥多摩町	2	2	5	3	3	3	4	5	4	2	6	3	42
組合外	1	2	5	1	4	3	0	3	0	6	2	3	30
合計	31	38	35	34	33	32	41	38	37	36	43	31	429

9 家庭用小型焼却炉無料回収事業

ダイオキシン等を出さない適正なごみ処理を推進するため、家庭用小型焼却炉の無料回収(7基)を実施した。

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	392	383	310,800	9	22,200
会議室	75	71	59,200	4	6,200
研修室	5	2	1,600	3	5,000
集会室	195	141	148,000	54	68,250
合計	667	597	519,600	70	101,650

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金(千円)	備考
農産物生産施設資金	0	0	パイプハウス、加工所
	1	1,170	
農機具購入資金	0	0	トラクター等
	1	1,400	
部門別経営改善資金	0	0	管理機等
	1	4,560	
市長が認めた災害復興資金	4	7,770	雪害による被災パイプハウス等
	11	27,475	
合計	4	7,770	
	14	34,605	

※上段は平成27年度貸付分、下段は総計

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	42	29	17
上ノ台第2農園	76	72	50
上ノ台第3農園	36	34	28
森ノ上農園	86	79	49
合計	240	214	144

イ 利用者負担金 1,551,600円

ウ 技術指導

(ア) 非常勤職員賃金 461,550円(管理・指導 年間111日)

(イ) 実地講習会

a 開催日 平成27年4月29日

b 内容 夏野菜の植付けや管理等

c 参加者数 14人

エ 農作物展示会

平成27年11月7日、8日(産業祭品評会々場)



(3) 第21回あきる野市産業祭

- ア 開催日 平成27年11月7日、8日
- イ 農産物展示会 出品者71人 出品点数387点
- ウ たい肥の無料配布 先着150人
- エ 仔牛の写生会 参加者100人
- オ のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人

3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名 称	指定管理者	指 定 期 間	平成27年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成26年 4月 1日 ～平成31年 3月31日	304,782

4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実 施 期 間	獣 種	実 施 区 域	頭羽数
平成27年 4月 12日 ～平成28年 3月31日	イノシシ	市内全域(市街地を除く。)	20頭
平成27年 4月 4日 ～平成28年 3月31日	サル	五日市地区(市街地を除く。) 増戸、五日市、戸倉、小宮地区	13頭
平成27年 4月 1日 ～平成28年 3月31日	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	166頭
平成27年 4月 8日 ～平成28年 3月12日	キジバト カラス、ドバト ムクドリ ヒヨドリ	秋川南岸・五日市地区(市街地を除く。) 雨間、切欠、増戸、五日市、戸倉、 小宮地区	100羽
平成27年 10月10日 ～11月13日	スズメ	雨間、小川、南秋留、五日市地区	195羽
平成27年 5月25日 ～平成28年 3月21日	シカ	五日市地区 戸倉、小宮、小中野	5頭

5 獣害防止対策事業

(1) 獣害防止警戒システム整備事業委託

- ア 委託先 東京都猟友会五日市地区
- イ 委託業務 サルの追い払い  
五日市地区(五日市・戸倉・小宮地区) 2人 150日間
- ウ 委託料 4,038,800円

(2) 加害獣侵入防止対策事業

- 簡易電気柵購入 5セット 193,833円

(3) 有害獣捕獲事業

- ア 東京都猟友会五日市地区 2,850,000円
- イ 捕獲鳥獣殺処分委託(ハクビシン等) 200,000円
- ウ 捕獲鳥獣殺処分委託(カラス等) 100,000円

エ 有害鳥獣支援 241,900円

(4) あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア 保険加入補助 37件 76,500円  
 イ 技能講習補助 11件 135,300円  
 ウ 新規銃所持補助 0件 0円  
 エ 診断書料補助 14件 56,160円  
 オ 狩猟免許取得補助 2件 20,000円  
 カ 教習射撃 3件 88,700円

6 地域農政推進対策事業

(1) 認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開催日	内容
平成27年11月18日	認定農業者等担い手育成総合支援協議会開催 1 役員の内選について 2 平成26年度事業報告について 3 平成27年度アクションプログラム(案)について 4 平成27年度事業計画(案)について 5 農業経営改善計画認定審査について 6 新規就農者提案型支援事業について
平成28年2月19日	認定農業者等担い手育成総合支援協議会開催 1 農業経営改善計画認定審査について 2 青年等就農計画認定審査について 3 あきる野市新規就農者提案型農業経営支援事業について

(2) 新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1名配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。

支援対象者 2名

7 畜産振興事業

(1) 家畜環境衛生保全

(2) 家畜公害防止奨励事業

農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額 220,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 (利用団体数)	使用料			
	徴収分		減免分	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
134 (55)	77	233,600	57	74,800

(2) 運動場整備委託

ア 草刈及び植木の剪定(8回/年)  
 イ シルバー人材センター 189,576円

## 9 用排水路整備事業

### (1) 用排水路清掃委託

ア	下代継用排水路	(有) 田嶋土建	291,600円
イ	東郷前上流用水路	(有) 田嶋土建	75,600円
ウ	小川久保用水路入口	(有) 田嶋土建	110,160円
エ	小川久保用水路	(有) 田嶋土建	87,048円
オ	小川久保下流水路	(有) 田嶋土建	160,000円
カ	小庄地内用水路補修	(有) レオナ	249,480円

### (2) 農地及び農業用施設災害復旧事業

平成26年6月に発生した集中豪雨により、鳥居場会館西崖線が法面崩落し、その土砂及びコンクリート塊が堆積し真下にある東郷前用水の水路が閉塞する被害が発生した。この災害について水路の復旧と崩落した法面の設計及び工事は平成26年度に完了し、平成27年度はその他の上・下流の鳥居場地区農地防災事業概要策定設計委託を実施した。

設計委託 東京都土地改良事業団体連合会 5,940,000円

## 10 農業振興地域農用地除外事務

(1) 件数 3件(37筆)

(2) 面積 3,230.57㎡

## 11 農業振興地域農用地証明書発行件数 3件

## 12 農業団体育成事業

### (1) 農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会 2,000,000円

### (2) 主な事業内容

#### ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種を行い伝染病の発生を未然に防いだ。

##### (ア) IBR予防接種

4酪農家の乳牛128頭に五種及び六種混合を接種した。

##### (イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

2養鶏農家の12,800羽に接種した。

#### イ 畜産公害対策事業

##### 公害防止薬剤

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家(6戸)が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

#### ウ 秋川とうもろこし栽培研究事業

品質の良いスイートコーンを消費者に提供するため栽培研究を行った。

##### 品種比較調査

市内農家の圃場において試作品種の種を播き、平成27年7月15日に収穫して、外観・食味等の比較調査を行った。

#### エ 農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について、農業後継者部が中心となって「魅力ある農業」の研究を行った。

(ア) 意見交換会の実施

農業の諸問題について農業委員及び認定農業者と意見交換会を実施した。

(イ) 家族交流会の実施

家族間の情報交換をするため、家族交流会を実施し交流を深めた。

オ 農畜産物生産技術育成事業

消費者のニーズに対応する安全・安心な多品目の農畜産物を生産するために技術の向上を目指した。

(ア) 優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液と輸入受精卵を利用し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

(イ) 先進地視察研修

a そ菜部

平成27年11月2日に「東京都農業祭」に農作物の出品及び視察を行い、生産技術の向上を図った。

b 果樹植木花部

平成27年10月14日に、千葉県幕張メッセで開催された「第5回国際農業資材EXPO」を視察した。

平成28年2月10日に、池袋サンシャインシティで開催された「第65回関東東海花の展覧会」を視察した。

c 後継者部

平成28年1月14日、15日に千葉県の農林総合研究センター、みかど協和(株)袖ヶ浦農場及び茨城県のベルグアース株式会社茨城農場をそれぞれ視察した。

d 女性部

平成28年3月17日に千葉県の袖ヶ浦市の「のうえんカフェ」と千葉県の市原市の「あずの里いちはら」等を視察した。

e スイートコーン部会

平成27年11月17日に、茨木県の「渡辺農事 岩井研修農場」を視察した。

カ 農家の生活改善等啓発事業

農業に従事する女性は、農業の担い手として、また、家庭生活や地域社会への参加など重要な存在となっている。このため、農家女性も農業振興対策や地域が抱える農業の課題解決に向け積極的に取り組みができるように視野を広げた。

(ア) 産業祭に参加

平成27年11月7日、8日の産業祭において、おやきを販売することにより、市民との交流を図った。

(イ) フォーラムに参加

平成28年2月4日に開催された男女共同参画フォーラムに参加し見聞を広めた。

キ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることにより農

業振興を図った。

(ア) 産業祭に参加

平成27年11月7日・8日の産業祭において、あきる野市における農業の現状を市民に紹介するため、次のとおり実施した。

a 農産物品評会の開催

農産物の栽培技術及び品質の向上を目的として、市内の農産物(387点)を市民に紹介し、農業振興を図った。

b 仔牛の写生会

市民に畜産業についての理解を深めてもらうため、子ども達を対象に仔牛の写生会を実施した。

c 農産物の即売

農産物品評会終了後、農産物を即売し、消費者への宣伝普及を行った。

d のらぼう菜の苗配布

両日とも先着100人にのらぼう菜の苗の無料配布を行い、特産品の宣伝、普及を行った。

e たい肥の配布

たい肥(牛糞)を先着150人に無料配布し、市内で生産しているたい肥の宣伝、普及を行った。

(イ) 先進地視察研修会の実施

農業振興会では、平成27年8月26日に、茨城県神栖市「JAしおさい波崎地区(ピーマン産地)」を視察した。

(ウ) 農業振興会だよりの発行

地域農業者の情報誌として、また、異種農業者(農業振興会各部)の連携を深めるため、「農業振興会だより」を年3回(第15-17号)発行した。

(エ) 農業用資材の調査研究

地球規模の環境問題に対応するため、環境に優しい農業資材の調査研究のため「生分解性マルチフィルム」購入に際して一部助成をし、ゴミの減量に努めた。

13 田園景観保全事業

市内の水田にレンゲソウの種子を配布し、景観整備を行った。

配布地区 小川、横沢(横沢入)、引田、菅生、五日市(小庄水田)、御堂

14 農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

(1) 件数 11件(19筆)

(2) 面積 11,591㎡

(3) 契約期間 3年~5年

15 イノシシ出没対策事業

イノシシが人家付近へ出没した場合の人身事故の発生を未然に防ぐとともに、万一人身事故が発生した場合の被害を最小限にとどめることを目的として、イノシシ出没時の対応手順書を

策定した。

16 被災農業者向け経営体育成支援事業

平成26年2月雪害により被害を受けた農業用施設の撤去・再建・修繕についての補助事業を実施した。

(1) 対象農家数及び対象棟数

ア 対象農家数 12戸

イ 再建・修繕 19棟

(2) 助成金額 36,754,525円

17 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

3戸の新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

(1) 補助対象者 新規就農者 3戸

(2) 補助事業の内容 管理機、ビニールハウス、一輪管理機、トラクター(中古) 他

(3) 補助金額 1,202,260円

18 青年就農給付金事業

国の新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱に基づき、農業従事者の減少及び高齢化に対応するため経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市青年就農給付金を支給した。

(1) 補助対象者 新規就農者 1戸

(2) 補助金額 1,500,000円

19 子ども向け収穫体験事業

市制施行20周年に伴い、記念事業として子どもが主役のイベントを行った。

開催日 平成28年3月26日

内容 のらぼう菜の収穫体験と調理体験

参加者数 19名

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市有林には、市が直接管理している森林と個人に貸し付けている森林があり、保育・管理、境界確認作業等を計画的に実施している。

(1) 市有林境界調査

ア 境界確認面積	14.35 ha
イ 管理図作成面積	54.63 ha
ウ 事業費	2,422,042円

(2) 市直営林の管理育成

ア 面積	9.27 ha
イ 事業費	1,345,449円

施業場所	面積(ha)	内 容
あきる野市戸倉地内	9.27	草刈工、大刈工、つる切工、間伐工

(3) 市有林契約更新

ア 乙種林	5件
イ 丙種林	0件

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全15路線で概ね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施している。

工事件名	工事内容	工事費(円)
林道伝名沢線改良工事	工事施工延長L=26.6m 落石防護網設置工(覆式)A=106.2㎡ ガードレール設置工L=11.5m コンクリート路面工A=89.4㎡	3,000,000
林道南沢線改良工事	仮設道路設置工1.0式 補強土壁工A=58.8㎡	12,000,000
林道鍾乳洞沢線開設工事	工事施工延長L=120.0m 補強土壁工A=450.6㎡ 厚層基材吹付工A=214.8㎡	30,000,000
林道盆堀線開設工事	工事施工延長L=186.2m ガードレール設置工L=177.0m 補強土壁工A=757.5㎡	41,000,000
林道維持補修工事 (林道南沢線外3路線)	路肩擁壁設置工事等1.0式	7,889,360

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、3割間伐及び眺望改善間伐を実施した。(現地確認実施)

(1) 協定書締結件数	16件
(2) 実施面積	44.44 ha
(3) 事業費	32,135,403円(東京都負担)

#### 4 枝打ち事業

過去に森林再生事業（間伐）を実施した森林について、樹冠長の下部概ね50パーセントの枝打ちを行った。

- (1) 承諾者数 34名
- (2) 実施面積 14.54ha
- (3) 事業費 30,140,835円（東京都負担）

#### 5 造林(保育)補助事業

林業振興策の一つとして、植栽時の森林育成に重要な下刈施業に対し、経費の一部を補助した。（現地確認実施）

- (1) 実施面積 0.47ha
- (2) 補助金額 14,100円

#### 6 森林計画関係

- (1) 森林整備推進協議会開催 1回
- (2) 森林経営計画認定及び変更認定 9件
- (3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意（属人計画） 3件
- (4) 森林経営計画認定区域外伐採届（森林法第10条の8）処理 23件
- (5) 森林経営計画認定区域伐採届（森林法第15条）処理 5件
- (6) 保安林内間伐届（森林法第34条）受理通知処理 9件
- (7) 森林の土地所有者届出書受理及び通知 6件

#### 7 採石事業関係

- (1) 採石生産量報告書受理件数 24件（2社）
- (2) 採石場パトロール 平成27年11月18日実施（2箇所）

#### 8 治山事業

- (1) 治山工事協議（現地確認） 6件
- (2) 治山工事に伴う測量設計（東京都施工） 0件
- (3) 治山工事（東京都施工） 3箇所（養沢・乙津地内）

#### 9 他自治体等との連携事業

- (1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議
  - ア みなと区民の森調整連絡会開催 1回
  - イ みなと区民の森環境学習（間伐体験・生き物観察）開催 15回
  - ウ みなと森と水ネットワーク会議開催 3回
  - エ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数 1件
  - オ みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数 0件

#### (2) 新宿の森 あきる野

「新宿の森 あきる野」下刈及びイベント 平成27年9月26日実施



(3) サントリー天然水の森奥多摩

ア	間伐作業	4. 17 ha
イ	広葉樹林内整備	1. 77 ha

1 観光事業

(1) 観光普及と宣伝事業

ア 大多摩B級グルメの実施

「食と観光」「地産地消」をテーマに大多摩観光連盟（あきる野市、青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町、山梨県丹波山村、小菅村で構成）がB級グルメ大会を実施した。

大多摩B級グルメへの参加により、地元B級グルメや特産品等を近隣住民に紹介した。

開催日	平成27年5月16日、17日
場所	青梅市役所庁舎駐車場
内容	各市町村から20店舗のご当地グルメを出品
入場者数	21,000人

イ 観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

観光関係雑誌等への掲載により、さらに広い範囲にあきる野観光を宣伝し、認知度の向上を図った。

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

各種事業の後援により、あきる野観光を宣伝し、認知度の向上を図った。

ア さくら観賞

開催日	平成27年3月30日～4月12日
場所	東京サマーランドファミリーパーク
内容	観桜場所の提供、物品・飲食販売、フリーマーケット開催等
来場者数	1,170人

イ 平成27年度6月13・14日元気復興石巻マルシェ

開催日	平成27年6月13日～6月14日
場所	東京サマーランド 正面入口特設会場
内容	復興支援として石巻観光物産展を開催
来場者数	12,170人

ウ 第31回あきる野映画祭

開催日	平成27年7月18日、23日～26日
場所	まほろばホール、小和田グラウンド、五日市会館
内容	公募作品の上映、野外上映、一般作品の上映
入場者数	延べ2,330人

エ 第16回秋川リバーサイドふれあいまつり

開催日	平成27年10月11日
場所	リバーサイドパークーの谷
内容	鮎の伝統漁法、芋煮の振舞い、鮎の塩焼き販売等
来場者数	1,103人

オ 第1回 Tokyo Metropolitan Mountain MTG

開催日	平成27年11月3日
場所	東京都庁「都民ホール」「都民広場」
内容	講演会、パネルディスカッション、登山関連道具の紹介・販売のほか、安全登山教室やマウンテンバイク体験など
来場者数	約6,000人

カ 地域資源発掘型実証プログラム 多摩川の魅力再発見「多摩川カヌー駅伝大会」

開催日	平成28年3月5日
場所	開会式：青梅市釜の淵公園 表彰式：昭島市くじら運動公園
内容	多摩川上・下流域の地域資源を活用したカヌー駅伝大会
来場者数	約300人

キ 知のミュージアム多摩・武蔵野検定

開催日	平成28年3月12日
場所	明星大学23号館
内容	多摩・武蔵野に関する事柄について試験を実施
受験者数	196人

2 観光施設美化整備事業

市内32か所の観光用トイレの維持管理、清掃を各種団体等に委託して行った。

また、観光客への更なる利便性を図るために、観光トイレ台帳を作成し、維持管理方法を見直した。

3 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を向上させ、地域の観光事業の一層の推進を図った。

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数
秋川橋河川公園	平成26年4月1日～ 平成29年3月31日	あきる野市観光協会	約65,000
第1水辺公園 リバーサイドパーク 一の谷			約4,800
第4水辺公園 秋川ふれあいランド			約14,900

4 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 協働組織 秋川駅北口地区産業活性化戦略委員会

会議 5回開催

(2) 実施事業 イルミネーション設置

イルミネーションの設置を通じ、秋川駅北口地区への誘客及び活性化に寄与した。

ア 設置場所 秋川駅北口駅前、マールボロウ通り、駅前大通り、秋留野広場

イ 点灯期間 平成27年11月25日から12月27日まで

5 商工業振興事業

商工会への補助により、市内商工業の改善や発展が図られたとともに、商店街への補助及びイベント開催支援を通じ、市内商工業の振興に資した。

また、市内事業所への融資及び利子補給事業を通じ、市内中小企業の振興及び経営改善に資した。

(1) 商工振興補助事業

ア 商工会補助事業

あきる野商工会

商工会事業補助金25,650,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修助成事業 商工会事業補助額 8,000,000円

個人住宅の改修工事等の一部を助成することで、事業者の利用促進とともに住民サービスの向上や地域資産の充実を図ることで、需要の喚起を促し、景気を刺激し、地域経済の活性化に寄与することを目的として実施した。

- a 申請件数 176件
- b 完了済件数 176件
- c 施工事業所数 38社
- d 総合計請負金額 215,267,147円
- e 助成金額 8,802,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信事業 商工会事業補助額 500,000円

ご当地グルメ発掘及び開発にかかる情報発信を行い、地域特性を内外に強く知らしめ、地域産業の更なる振興を図った。

- a 大多摩B級グルメ大会に出店
- b PRチラシ作成及び各イベント等における広報活動

ウ 商店街振興補助事業

(ア) 販売促進事業（イベント事業；東京都新・元気を出せ！補助事業併用、市補助含む）

商店会名	事業名	補助額(円)
あきる野商店会 連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	880,000
	あきる野商店会連合会感謝祭	629,000
秋川駅北口会	北口フェスティバル	908,000
	あきる野ウィンターフェスティバル2015	589,000
原店商店会	原店ナイトバザール	816,000
	原店歳末セール	468,000
野辺商興会	ワッショイ・ワッショイセール	430,000
五日市商和会	お中元大売出しと盆踊りの夕べ	664,000
	歳末大売出しとイルミネーション	1,306,000
多西商栄会	感謝セール	178,000
	歳末感謝セール	182,000
増戸商栄会	増戸ますます市	1,144,000
秋川駅南口商店会	サマーフェスタ	309,000
	ウィンターフェスタ	441,000
二宮商栄会	歳末大感謝プレミアムセール!	228,000

(イ) 研修会等開催事業

商店会名	事業名	補助額(円)
原店商店会	講演会と大型店の見学会	60,000

エ 商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商店会名	単価(円)	基数	補助額(円)
原店商店会	2,000	LED 33	66,000
東秋留北口商栄会	3,780	20	75,600
五日市商和会	2,000	LED 80	160,000

オ 夏まつり補助事業

開催日	平成27年8月1日
場所	JR秋川駅北口大通り周辺
来場者数	45,000人
補助額	2,325,000円(第13回あきる野夏まつり運営委員会補助)

カ ヨルイチ補助事業

開催日	平成27年8月29日
場所	檜原街道沿いの地域(JR武蔵五日市駅~小中野交差点)
来場者数	約10,000人
補助額	540,000円(第13回ヨルイチ実行委員会補助)

キ 産業祭補助事業

開催日	平成27年11月7日、8日
場所	都立秋留台公園
来場者数	50,000人(1日目39,000人、2日目11,000人)
補助額	4,815,000円(第21回あきる野市産業祭運営委員会補助)

ク プレミアム商品券事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金及び地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用して実施した。

商工会事業補助額 90,830,074円

名称	秋川溪谷プレミアム商品券(20%プレミアム付き)
発行冊数	41,000冊
商品券の詳細	1冊10,000円で販売 500円券が24枚綴りで12,000円分使用可能 A券14枚(取扱店全店で使用可能) B券10枚(大型店で使用不可)
発行総額	492,000,000円
販売期間	平成27年8月25日~平成27年8月30日
高齢者等への先行販売	平成27年8月18日~平成27年8月21日 (5,000冊販売)
使用期間	平成27年8月25日~平成27年12月31日
取扱店舗数	490店舗(大型店37店、一般店453店)
商品券の回収率	99.7%(大型店38.5%、一般店61.2%)

ケ 創業支援補助事業

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用して実施した。

名称	あきる野市創業支援シンポジウム
開催日	平成28年3月18日
場所	あきる野ルピア 3階 ルピアホール
来場者数	76人
補助額	1,816,000円(あきる野商工会補助)
作成資料	あきる野市創業支援パンフレット(500部) あきる野市創業支援冊子(500部)

(2) 中小企業振興資金融資及び利子補給事業

ア 融資件数 27件

イ 融資額 135,600千円

	利子補給件数	利子補給額(円)
上半期	98	389,198
下半期	99	365,932

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数	利子補給額 (円)
上半期	205	5,560,213
下半期	210	5,453,230

6 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、信用保証協会による補償限度額の別枠化等を行うことにより、市内企業の経営の安定化に寄与した。

- (1) 業種関係認定 (法第2条第5項第5号) 10件
- (2) 東日本大震災関係認定 (法第128条第1項第1号、第2号) 0件

7 大規模小売店舗立地法に基づく届出

平成27年度は大規模小売店舗立地法に基づく届出はなく、市内における大規模小売店舗の出店や変更等の動きは見られなかった。

8 砂利採取法に関する意見調整

砂利採取事業者に対する認可更新のための都からの意見照会を受け、当該町内会、耕地組合及び市関係部署等からの意見聴取を行い、結果について都へ報告した。これにより、当該事業者による砂利採取の継続が可能となった。なお、認可更新については、町内会、耕地組合及び市関係部署の理解を得られている。

- (1) 新規砂利採取件数 0件
- (2) 継続砂利採取件数 0件

9 市民ローン貸付に伴う保証機関保証料補助

市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えたが、平成27年度の申請及び融資実行はなかったため、市民が本制度を利用しやすい仕組みづくりについて改めて検討する。

10 消費者行政関係

消費者相談の実施を通じて消費者トラブルや被害の解決を図った。また、講座や啓発事業の実施により、市民の消費者被害防止や消費生活の向上に寄与した。

(1) 消費者相談

- ア 開催日数 95日
- イ 相談件数 148件

(2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数
平成27年 8月 6日	夏休み子ども消費生活講座 「知ろう地域の名産品！～工場見学で学ぶ醤油づくりとあつあつせんべい焼き体験～」	18
9月25日	介護教室 「高齢者を狙った消費者被害について」	9
平成28年 1月21日	消費生活講座 「食品添加物って何だろう？ ～講座とゼリー作り実習～」	12

(3) 消費者啓発

ア 産業祭会場での消費者トラブル・被害防止啓発展示

(ア) 実施日 平成27年11月7日及び8日

(イ) 場所 産業祭会場内公共コーナー

(ウ) 内容

消費生活相談員による消費生活相談窓口のPR及び消費者被害防止啓発、手ぬぐいを使用したエコバック作り講座

イ 成人式出席者への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布

ウ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載

「くらしの知恵袋～消費生活相談情報～」と題し、月1回程度、消費者被害防止や消費生活に資する情報を掲載した。

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

平成27年度は連絡会4回、講座2回（テーマ：「汚れをやさしく取る！～洗濯&掃除～」、「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の概要とそのトラブル全般について」）を羽村市にて開催した。

11 第21回あきる野市民まつり実行委員会

あきる野市民まつり実行委員会を設置し、市民まつりの計画と実施の運営を円滑に行った。

事務担当者会議 平成27年6月22日

12 労働行政関係

ハローワークと共催でセミナーを実施し、市民の就職活動を支援した。また、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載し、市民へ就職に資する情報を伝えた。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 15,335人（求職者 15,284人、求人者 51人）

イ 就職者 870人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者再就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	テーマ	受講者数
平成27年 7月29日	効果的な再就職活動をするために	46
平成28年 1月28日		36

イ 面接会（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	参加企業数（社）	当日面接人数	採用人数
平成27年 7月29日	3	5	1
平成28年 1月28日	2	4	0

ウ 就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	コース	参加者数
平成27年 4月27日	自己理解・職業理解（座学）	22

開催日	コース	参加者数
5月25日	応募書類の書き方(座学)	45
6月29日	面接対策(座学)	34
7月27日	自己理解・職業理解(座学)	47
8月24日	応募書類の書き方(座学)	48
9月28日	面接対策(座学)	41
10月26日	自己理解・職業理解(座学)	34
11月30日	応募書類の書き方(座学)	36
12月21日	面接対策(座学)	44
平成28年 1月25日	自己理解・職業理解(座学)	39
2月22日	応募書類の書き方(座学)	35
3月28日	面接対策(座学)	30

### 13 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

(1) 位置 あきる野市五日市110番地1

(2) 面積 1946.57㎡

(3) 利用状況

利用件数	使用料				使用日数	利用人数
	件数	徴収分(円)	件数	減免分(円)		
35	15	28,200	20	139,200	130	12,328

### 14 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

JR青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進することにより、地域産業の振興に寄与した。

(1) 会議 運営協議会 1回 事務局会議 5回 ワーキンググループ 6回

(2) 事業

ア 研修事業

新入社員・若手社員研修(全3回、延べ114名)

中堅社員研修(全3回、延べ108名)

後継者育成塾(全5回、延べ13名)

イ 地学地就・合同企業説明会事業

(ア) 杏林大学学内合同企業説明会

実施日 11月11日

参加企業数 10社

参加学生数 12名

(イ) 駿河台大学学内合同企業説明会

実施日 11月25日

参加企業数 5社

参加学生数 6名

ウ ポータルサイト運営事業 掲載企業数45社



15 食品放射性物質検査事業

検査を実施し、消費者の食に対する安心・安全の確保に寄与した。

- (1) 検査内容 食材中の放射性物質（セシウム134とセシウム137）の濃度を測定
- (2) 実施期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
- (3) 検査対象 市内小中学校・保育園・幼稚園・認証保育所・農産物直売所
- (4) 検査検体数 711検体
- (5) 検査結果

ア 不検出 711件

イ 検出 0件

※検出限界値（各測定における検出可能な最小数値のこと）未満の場合には不検出となる。

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図った。

観光客の受け入れに際し、観光ボランティアガイドの活発な活動によりおもてなし体制を確立することができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、土、日曜日・祝日の午前中、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内件数 57組134人(4月から11月)※8月を除く

イ ブースでの観光案内 4,818人

ウ 予約コース「初夏を感じるあじさい山めぐり」の実施

開催日	平成27年6月27日
コース	武蔵五日市駅～まいまい坂～穴沢天神社～真光院～深沢家屋敷跡～南沢あじさい山～金比羅山～瀬音の湯(約8.5km)
内容	南沢あじさい山を中心に観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	25人(従事ガイド8人)

エ 予約コース「秋川溪谷紅葉めぐり」の実施

開催日	平成27年11月14日
コース	武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～広徳寺～佳月橋～黒茶屋～旧戸倉小～戸倉会館～星竹みち～石舟橋～瀬音の湯(約8km)
内容	紅葉の秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	18人(従事ガイド7人)

オ 武蔵五日市七福神めぐりボランティアガイドの実施

開催日	平成28年1月2日
コース	コース：武蔵五日市駅～大悲願寺～正光寺～下町地藏堂～栗島神社～番場地蔵堂～玉林寺～光厳寺～星竹みち～徳雲院～瀬音の湯(約11km)
内容	武蔵五日市七福神のコースを観光ボランティアガイドの解説で巡る。
イベント参加者	18人(従事ガイド4人)

(2) 観光客誘致促進事業(市後援事業)

ア 小峰ふれあい自然郷さくら山祭り2015

開催日	平成27年4月11日、12日
場所	都立小峰公園(ふれあい広場、小峰ビジターセンター)
内容	雛子、食べ物屋台、のらぼう菜試食会、里山クラフト体験の実施など

イ 秋川溪谷ら・ら・らパーティー

開催期間	平成27年4月18日、19日
場所	秋川橋河川公園バーベキューランド
内容	ワークショップ、飲食・物販、ライブ

ウ 和の響き～あきる野の奏で～in深沢あじさいの郷

開催期間	平成27年6月20日
場所	南沢あじさい山
内容	野外音楽フェスティバル(出演：広原武美ほか)

エ スマフォトウォークラリーIN秋川溪谷

開催期間	平成27年7月11日
場 所	秋川溪谷周辺
内 容	写真撮影をしながら、秋川溪谷をめぐるウォークラリー

オ 第23回日本山岳耐久レース

開催期間	平成27年10月31日、11月1日
場 所	奥多摩山城（スタート・ゴールは五日市中学校）
内 容	奥多摩山城71.5kmを走る全国規模のトレイルランニング大会

カ 武蔵五日市七福神めぐり

開催期間	平成28年1月1日～31日
場 所	五日市地区の寺院
内 容	七福神のお寺を徒歩で廻る。

(3) 指定管理者による管理

施設名	指定期間	指定管理者	温泉利用者数
秋川溪谷瀬音の湯	平成27年4月1日 ～平成32年3月31日	新四季創造株式会社	260,964人

(4) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

あきる野市・日の出町及び檜原村の共同事業として、3市町村の観光の魅力を紹介して誘客に結びつけるPR用ポスターの秋号及び春号をそれぞれ800部作成し、JR東日本八王子支社管内の主な駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

(5) 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

五日市活性化戦略委員会

ア 会議 5回開催

イ 実施事業

(ア) 百日紅まつり

7月31日から9月30日まで、ソーラーライト点灯と百日紅（檜原街道沿い）のライトアップを行った。

a 点灯式 平成27年7月31日

b 流し踊り 平成27年8月23日

(イ) 武蔵五日市駅前イルミネーション

11月27日から12月31日まで ケヤキに設置したイルミネーションを点灯した。  
点灯式 平成27年11月27日

(ウ) 商店街拠点づくり

五日市地区における地域活性化の拠点づくりとして、店舗の集いやイベント開催の場として活用し、商店街及び地域の活性化に寄与する事業への参画と支援を実施した。

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーションを展開し、秋川溪谷のブランド化を図った。秋川溪谷を訪れる旅行者が利用する交通に係る事業者との連携によって、様々な宣伝媒体で「秋川溪谷」を伝播した。また、市内の関係団体との協力体制を強固なものにし、観光プロモーションを展開する基盤づくりを進めた。

(1) 民間事業者との連携による観光プロモーション事業

交通に係る事業者と連携し、観光プロモーションを展開した。

ア 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）との連携事業

(ア) 観光キャラバンの実施

開催日	平成27年10月24日
場所	関越自動車道上り高坂サービスエリア
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など（20人）
内容	森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど（2,000セット）

(イ) JAFデー等イベントの開催

開催日	平成28年7月4日、11日、18日、11月14日（JAFデー） 8月6日（おくに自慢 NAVI プレゼント抽選会）、12月20日（JAF フェス）
場所	みつばちファーム、東京サマーランド、近藤醸造（JAFデー） 本庁舎（プレゼント抽選会）、サンリオピューロランド（JAF フェス）
内容	観光パンフレット、森っこサンちゃんグリーディング、あきる野市特産品の販売（協力：あきる野市観光協会五日市支部青年部）

(ウ) 宣伝媒体等による観光PR

No	発行・放送年月	媒体	内容
1	平成27年 5月	WEB	ご当地情報（近藤醸造、みつばちファーム）、おくに自慢 NAVI プレゼント（いぶし庵、近藤醸造、みつばちファーム）、ドライブコース（山抱きの大櫓、河川公園）
2	5月	雑誌	JAF PLUS（瀬音の湯）
3	6月	WEB	ご当地情報 TOP 画像（南沢あじさい山）
4	8月	WEB	JAF ナビ 秋のドライブコース（広徳寺、瀬音の湯）
5	10月	WEB	ご当地情報 秋冬グルメ特集（秋川牛コロケ）
6	12月	WEB	ご当地情報（観光ボランティアガイド七福神めぐり）
7	12月	WEB	JAF ナビ 冬のドライブコース（大悲願寺、瀬音の湯）
8	12月	WEB	ご当地情報（空色の旅人紹介、五日市物語 DVD プレゼント）
9	12月	雑誌	JAF MATE（瀬音の湯、五日市物語 DVD プレゼント）
10	平成28年 2月	WEB	ご当地情報 TOP 画像（小峰公園の梅）

イ 東日本旅客鉄道株式会社（JR）との連携事業

(ア) 観光キャラバンの実施

JR中央線の駅頭において、森っこサンちゃんのグリーティングや観光パンフレット等の配布を市内事業者と協働により2回実施した。

開催日	平成27年6月11日	平成28年3月24日
場所	JR立川駅、八王子駅	JR八王子駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、JR武蔵五日市駅長、秋川溪谷瀬音の湯、小峰ビジターセンター、東京サマーランドなど（20人）	あきる野市観光協会、あきる野商工会、秋川溪谷瀬音の湯、小峰ビジターセンター、東京サマーランドなど（16人）
配布物	観光パンフレットなど（2,000セット）	観光パンフレットなど（1,500セット）

(イ) 「秋川溪谷」横断幕の設置

武蔵五日市駅との連携より秋川溪谷来訪者へのおもてなしとして武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅構内改札頭上付近に横断幕を設置した。

ウ トヨタ西東京カローラ株式会社との連携

秋川渓谷観光プロモーションの一環としてイベント開催支援及び観光PRを目的とした協力をし、官民協働による事業を実施した。

(ア) イベント開催の連携

「わくわくドライブツアー」の協力

開催日	(春)平成27年5月31日、(秋)平成27年10月25日
場所	瀬音の湯、小峰ビジターセンター、近藤醸造、秋川国際マス釣場、みつばちファーム
内容	地元事業者によるワークショップ体験、及び地元食材を使ったバーベキューの実施。秋川渓谷観光のPR
イベント参加者	(春)西東京カローラユーザー96人、スタッフ24人 (秋)西東京カローラユーザー104人、スタッフ22人

(イ) 観光PRの連携

継続的な事業として、トヨタ西東京カローラ㈱の全29店舗において、秋川渓谷のリーフレットを配置。

(2) イベント出展等による観光誘客事業

ア 「東京観光情報コーナー」展示

開催日	平成27年8月19日～31日
場所	都庁第一本庁舎1階北側 東京観光情報コーナー
内容	観光パンフレットの配布、ポスター展示、秋川渓谷DVD放映

イ 第1回 Tokyo Metropolitan Mountain MTG 観光PRブース出展

開催日	平成27年11月4日
場所	都庁「都民ひろば」
内容	観光パンフレットの配布、秋川渓谷人気スポットアンケート実施

ウ 港区ちいき百貨展展示

開催日	平成27年8月、11月
場所	港区エコプラザ、港区商工会館
内容	観光パンフレットの配布、特産品の展示

(3) 観光関係雑誌、新聞等による紹介・宣伝

各種行事、市内観光施設等について雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

ア 媒体別

媒体	回数
雑誌	4
フリーペーパー	4
書籍	2
TV	1
WEB	6
新聞など	8
合計	25

イ 発行・放送別

No	発行・放送年月	媒体	メディア名称・番組名称
1	平成27年 4月	書籍	タイムマシンラボ『市めぐり』
2	4月	新聞など	あきる野便り4月号
3	6月	WEB	Prally「梅雨だから楽しいお出かけ」
4	8月	雑誌	ソトコト8月号
5	9月	新聞など	あきる野便り9月号

N o	発行・放送年月	媒体	メディア名称・番組名称
6	平成27年 9月	WEB	TAMAEbooks (3大まつり)
7	10月	新聞など	公明新聞10月4日号
8	10月	WEB	monofarm
9	11月	WEB	ウォーカープラス「紅葉名所2015」
10	11月	TV	日本テレビ「PON!」秋におすすめ!家族で冒険! 「紅葉のあきる野市」
11	11月	フリー ペーパー	(株)クリエイト「街の便利帳11月号」
12	11月	雑誌	東京ウォーカー11月号
13	11月	WEB	全国観るなび
14	12月	フリー ペーパー	大多摩四季報・冬
15	12月	新聞など	あきる野便り12月号
16	平成28年 1月	雑誌	東京ウォーカー1月号
17	1月	新聞など	あきる野便り12月号
18	2月	新聞など	公明新聞2月17日号
19	2月	新聞など	街プレ2月号
20	2月	WEB	東京の森と木「2015春直前!オススメスポット」
21	2月	書籍	びあ『花の名所と植物園 関東版』
22	3月	雑誌	昭文社『につぼんクルマ旅 関東』
23	3月	フリー ペーパー	大多摩四季報・春
24	3月	新聞など	あきる野便り3月号
25	3月	フリー ペーパー	西多摩霊園周辺散策MAP

#### (4) SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の活用

##### ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

(ア) 期 間 平成27年4月1日～平成27年3月31日 (365日)

(イ) 投稿回数 141回 (1週あたり平均約2.8回投稿)

(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約7,357回 (複数回閲覧者含む)

(エ) 各投稿の合計閲覧回数 1,037,302回 (複数回閲覧者含む)

(オ) 各投稿の平均閲覧人数 約3,426人 (ファン以外を含む)

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 483,003人 (ファン以外を含む)

※各投稿の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は記事投稿当日の数字より算出

(キ) ファン数 1,921人 (平成28年3月31日現在)

※平成27年3月31日時点は1,468人

##### イ 秋川溪谷LINE@アカウント

(ア) 期 間 平成27年4月1日～平成28年3月31日 (366日間)

(イ) 発信回数 136回 ※写真含む (1週あたり平均約2.6回発信)

(ウ) 各発信の平均閲覧回数 約43.8回 (複数回閲覧者含む)

(エ) 各発信の合計閲覧回数 5,953回 (複数回閲覧者含む)

(オ) 各発信の平均閲覧人数 約14.2人

(カ) 各発信の合計閲覧人数 1,930人

※各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は発信日の数字より算出

(キ) 友達数 1,604人 (平成28年3月31日現在) ※うち有効友達数1,030人

(5) 観光パンフレット等の作成

「東京のふるさと・あきる野」の魅力を市内外に発信するため、観光パンフレット等を作成した。

ア 秋川渓谷リーフレット（日本語） 春夏版20,000部、秋冬版20,000部

イ 秋川渓谷リーフレット（英語） 春夏版5,000部、秋冬版5,000部

(6) 秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川渓谷を中心とした画像を募集し、広く発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを開催した。また、応募作品の一部を秋川渓谷の魅力発信のため「秋川渓谷総リーフレットの写真データとして使用した。

ア 第2回（春・夏の部）

(ア) 応募期間 平成27年6月15日から平成27年8月31日まで

(イ) 応募作品 61作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第3回（秋・冬の部）

(ア) 応募期間 平成27年1月1日から平成28年1月31日まで

(イ) 応募作品 67作品

(ウ) 受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

(7) 秋川渓谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川渓谷を広くPRするため、秋川渓谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 4件

(イ) 使用承認 4件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) タペストリー 武蔵五日市駅～小中野交差点の檜原街道沿いに掲出

(イ) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(ウ) ステッカー イベント等で配布、市庁用自動車に貼付

(エ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(8) 看板設置

JR武蔵五日市駅前の檜原街道沿いに「秋川渓谷」ロゴの大型看板を設置し、旅行者の誘導及び新たな観光スポットとしての定着を図った。

3 秋川渓谷観光施設維持管理経費

秋川渓谷に係る観光施設等を維持管理し、観光資源としての継続的な保存や景観整備を図った。観光ルートの整備によって、眺望を確保しより魅力的なルートとすることができた。

(1) 観光施設及びルート整備事業

観光施設及びルート整備事業として、整備工事に向けた設計、施設の修繕、観光ルート上の看板設置、剪定作業等を実施した。

ア 沢戸橋下流右岸の遊歩道整備工事のための設計委託

イ 石舟橋展望テラスの床板及び手摺修繕

ウ 深沢地区の観光看板設置

エ 石舟橋周辺の支障枝剪定及び下草刈りによる景観整備

(2) 観光に資する森林資源整備事業

地域の持つ自然の魅力を活かした観光振興を図るため、森林観光ルート of 環境整備を進めた。

白杵山～荷田子峠（グミ尾根）修景整備事業

平成26年度に実施した修景整備の継続事業として、下草刈りを実施した。（工事面積12,000㎡）

4 武蔵五日市駅観光拠点整備事業

秋川溪谷の玄関口である武蔵五日市駅を活用し、観光情報の発信拠点として段階的な整備を実施する。

秋川溪谷観光情報コーナー開設準備

秋川溪谷観光情報コーナーの開設（平成28年度予定）に向けて、東日本旅客鉄道株式会社との協議を行った。

5 秋川溪谷観光プロモーション事業（地方創生先行型交付金事業）

外国人旅行者などに向けた最新の観光情報や多言語対応の情報提供、また、人材育成によるおもてなしの心の醸成など観光客の受入環境を整備するとともに、メディアを活用した観光情報のシェアによる波及効果等による新たなプロモーション活動を展開した。

(1) 秋川溪谷Wi-Fi整備

あきる野市を訪れる外国人旅行者等の受入環境を整備するため、市内10箇所に公衆無線LAN（Wi-Fi）サービス提供に要する機器を設置した。

ア 設置箇所（全10箇所）

秋川駅、武蔵五日市駅、武蔵増戸駅、市役所本庁舎、五日市出張所、二宮考古館、

五日市郷土館、武蔵五日市駅前観光案内所、秋川溪谷瀬音の湯、あきる野ふるさと工房

イ アクセス回数（平成27年12月25日～平成28年3月31日）

10箇所合計 6,075アクセス

(2) 観光用デジタルサイネージ整備

あきる野市を訪れる外国人旅行者等に対し、観光スポットやイベント等の観光情報を発信することを目的とした多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）を市内5箇所に設置した。

ア 設置箇所（全10箇所）

秋川駅、武蔵五日市駅、五日市出張所、武蔵五日市駅前観光案内所、秋川溪谷瀬音の湯

イ 対応言語

日本語、英語、繁体字、簡体字、ハングル

(3) 「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川溪谷」を活用し、秋川溪谷観光プロモーションを推進するためLINEのコンテンツであるスタンプ内にて、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを製作・販売した。



ア 販売期間

平成27年9月18日～平成28年3月31日 ※平成28年度も継続して配信中

イ LINEスタンプ販売数

791ダウンロード

ウ LINEスタンプ使用数（受信総数）

46,034件

(4) 観光アドバイザー事業

「秋川溪谷」のブランド化を推進するため、秋川溪谷観光に精通した事業者にアドバイザー事業を委託し、観光資源の発掘・評価を行うとともに、地域の観光事業者及び観光ボランティアガイドを対象とした「おもてなし」やインバウンド対策等の受入環境整備に向けた研修・指導を行った。

ア モニターツアーによる観光資源の発掘・評価

開催日	平成28年3月3日
見学場所	山抱きの大榎・深沢家屋敷跡等、近藤醸造、みつばちファームミュージアム、広徳寺、寿庵忠左衛門、岩瀬峡、戸倉会館（忍者体験）、徳雲院、乙津花の里、石舟橋、秋川溪谷瀬音の湯
参加者	帝京大学教員4人、帝京大学学生5人（うち留学生4人）、観光ボランティアガイド1人

イ おもてなし向上に関する研究・視察

開催日	平成28年3月25日
視察場所	千葉県香取市佐原
視察内容	佐原まちづくり型観光の取組、通訳観光ボランティアの取組、まちなか散策（伊能忠敬記念館、まちぐるみ博物館、酒造など）
参加者	あきる野市観光協会、市内事業者、観光ボランティアガイド、五日市活性化戦略委員、市職員外

ウ インバウンド対策指導講座

開催日	平成28年3月10日、3月23日
開催場所	五日市地域交流センター まほろばホール
講座名	第1回インバウンドの現状と今後の展望 第2回インバウンド対策の先進事例
参加者	あきる野市観光協会、市内事業者、観光ボランティアガイド、五日市活性化戦略委員、市職員ほか

(5) 観光実態調査

秋川溪谷観光プロモーションの効果を把握しながら、今後の方向性を考察する資料として市内の観光施設等において、秋川溪谷観光の実態調査を行った。

ア 期間 平成27年11月28日から平成28年3月6日まで

イ 場所 秋川溪谷瀬音の湯、武蔵五日市駅前、五日市ファーマーズセンター、黒茶屋、みつばちファームカフェ

ウ 方法 対面式調査（580サンプル）、留め置き式調査（21サンプル）

エ 結果 実態調査の実施により、秋川溪谷観光における6つの課題（知名度の向上、ビギナー来訪者の獲得、満足度の向上・維持、観光消費額の拡大、立寄り範囲の拡大、誘致圏の拡大）及び取組むべき6つの方向性（戦略的なプロモーション活動の展開、教育プログラムの充実とBBQの聖地化、溪谷景観の維持・向上、宿泊プログラムの充実化、市内周遊ルートの整備・案内、外国人旅行者の誘致）の提案を受けた。

1 旧戸倉小学校観光施設整備事業

平成24年4月から地域の代表者等で構成する戸倉小学校施設・地域検討会議は、活用計画をまとめ上げたことから発展的な解消をした。平成26年4月からは施設の運営に向け、地元の方や産業関係団体の方の入った組織で具体的な内容を決定していくため、首都大学東京を加えた旧戸倉小学校運営準備委員会を立ち上げ、改修内容、運営主体、各機能の検討を行い、設計、必要経費の算出及び運営主体を決定した。平成27年度は平成28年4月9日のオープンに向けて、旧戸倉小学校運営準備委員会を中心に施設の改修工事、運営に向けた地域との連携、施設名称の決定、多摩産材の椅子、テーブル、2段ベッドを含む備品の購入、東京都からの施設改修工事費補助金事務及び地域説明会などの事業を進めた。平成27年10月から新四季創造㈱が指定管理者として運営を開始し、旧戸倉小学校を体験・宿泊・飲食・展示の機能をもつ滞在型観光施設（秋川溪谷戸倉体験研修センター戸倉しろやまテラス）に整備した。

旧戸倉小学校運営準備委員会 6回開催

	開催日	主な内容
1	平成27年5月26日	今年度事業（工事・運営）について
2	7月13日	改修工事等の進捗状況について 専門部会（農業、飲食、展示）の活動状況について
3	10月20日	改修工事の状況報告、専門部会（農業、飲食、展示）の活動状況、施設の愛称について、オープンまでの取組について
4	12月1日	地域説明会（11/15、19、29で計5回開催）の報告、「戸倉しろやまテラスサポートクラブ」賛同者について、愛称デザインの決定
5	平成28年2月16日	改修工事完了後の施設内の見学、オープンに向けた取組状況、地域の方とのオープニングセレモニーについて
6	平成28年3月11日	4月5日の式典、4月9日のオープニングイベントについて

2 ふるさと工房運営事業

市の伝統工芸である「軍道紙」の紙漉き技術を後世に残すため、手漉き和紙の保存伝承及びPR活動を行った。

(1) 小学校体験学習件数 41校（市内8校、市外33校） 3,024人

(2) 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9,067,000円

(3) 軍道紙づくり講習会の実施

原料の作成から紙漉きまでの行程を行った。手漉き和紙の伝統文化の理解及び郷土愛の醸成に繋がり、後継者育成の足がかりとなった。

ア 実施期間 平成27年11月14日から平成28年3月5日まで

イ 実施回数 8回

ウ 受講者数 4人（市民）

(4) 軍道紙うちわ作り講習会（子どもが主役事業）

市内の小学生4年生から6年生を対象に、手漉き和紙でうちわを作る講習会を開催し、伝統文化の理解及び郷土愛の醸成を図った。

ア 実施期間 平成27年8月20日、8月21日、8月24日

イ 実施回数 3回

ウ 受講者数 19人

(5) イベントにおけるPR活動

	イベント名	開催日
1	あきる野市産業祭	平成27年11月8日、9日
2	ツーリズムEXPOジャパン	平成27年9月24日～9月27日

(6) 軍道紙紹介冊子の作成

2020年に開催される東京都オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、軍道紙を多くの方にPRするために英語表記を交えた冊子を作成した。

3 地域産業活性化事業

養沢地域の特性を生かし、地域の方が将来に向けて、いきいきと暮らせ、市民等の癒しの場にするを目的として、地域と協働で活性化事業を実施している。平成27年度は平成25年度に作成した養沢紹介パンフレットを増刷し、引き続き観光案内所や観光キャンペーンなどで配布し、より多くの方に養沢活性化委員会の活動や養沢地域の良さを広めた。平成27年度からは養沢地域内にある空き家の活用について調査・検討を始めた。

養沢活性化委員会

(1) 会議 10回開催

(2) 事業

- ア ライトアップ事業（地域内の桜、もみじをライトアップ）
- イ 景観整備事業（植樹、伐採）
- ウ 果樹園整備事業（ブルーベリー畑の草刈、商品化の研究、ブルーベリーの販売）
- エ ホテル繁殖事業（カワニナを増やす活動、ホテルの夕べ開催）
- オ 空き家対策事業（空き家の所有者にアンケート調査を実施、事例研究）

4 五日市物語事業

平成21年度と平成22年度の2箇年をかけて、五日市を題材にして製作した映画「五日市物語」について、平成23年度と平成24年度に劇場で一般公開をした。平成26年度は、映画「五日市物語」を観光資源のひとつとして、平成24年度から実施している五日市地域交流センター3階展示場での展示を継続して行った。また、上映会及びイベントでのPRを実施し、映画を通じて五日市の歴史・文化・自然を多くの方に伝え、郷土愛の醸成を図った。

(1) 「五日市物語」展示場

ア 開館日 平成27年4月1日から平成28年3月31日（年末年始を除く）

※平成26年11月1日から五日市物語展示場内に「あきる野市ゆかりの人展」を開設

イ 来場者数 612人（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(2) 映画「五日市物語」上映会

開催日	場所	内容	参加者数
平成27年7月18日	小和田グラウンド	あきる野映画祭 野外上映「五日市物語」	70人
平成28年1月16日	秋川キララホール	映画「五日市物語」 無料上映	203人

(3) イベントにおけるPR活動

	イベント名	開催日
1	あきる野映画祭	平成27年7月18日、7月23日～26日
2	あきる野市産業祭	平成27年11月7日、8日

5 ふるさと文化創生事業

豊かな自然や歴史に恵まれたあきる野は、時代ごとに様々な分野で活躍する人々を輩出してきた。こうした地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするために、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を平成25年度に作成した。平成27年度も引き続き観光キャンペーンや、観光案内所等で配布を重ねるとともに、ゆかりの人展やゆかりの地を巡るイベントを開催し、郷土愛の醸成に繋げた。

(1) あきる野市ゆかりの人展の開催

あきる野市ゆかりの人10人を紹介するパネル等を展示し、ゆかりの人の功績を広めることと、ゆかりの地やその周辺の観光スポットを紹介し郷土愛の醸成に繋げた。

- ア 開催日 平成27年6月29日から平成27年7月3日
- イ 場所 あきる野市役所1階コミュニティホール
- ウ 参加者 404人

(2) あきる野市ゆかりの人探訪（子どもが主役事業）

「あきる野市ゆかりの人パンフレット」に掲載した散策モデルコースを基に観光ボランティアガイドの解説を交えながら、市内の小学5・6年生及び中学生を対象に、貸切りバスを使い、市内全域にある、偉人ゆかりの地とその周辺を巡るイベントを開催し、ゆかりの人の功績を広めることと、ゆかりの地やその周辺の観光スポットを紹介することで郷土愛の醸成に繋げた。

- ア 開催日 平成27年11月28日
- イ 参加者 7人（小学生3人、中学生4人）

(3) PR活動 あきる野市ゆかりの人パンフレット配布

- ア 開催日 平成27年8月18日から平成27年8月31日
- イ PR場所 都庁第1本庁舎1階北側 東京観光情報センター内

観光まちづくり活動課 フィルムコミッション係

1 フィルムコミッション事業

(1) 撮影支援

映画・テレビ・CMなどの撮影がスムーズに進行するための環境整備を整えるとともに、経済振興・誘客効果・地域の魅力を再認識するために、撮影を誘致及び支援した。

ア 撮影問合せ及び実施件数

ロケ地等問合せ件数 209件 (内 撮影件数57件、実施率27.3%)

月	問い合わせ件数 (合計)				撮影実施件数			
	合計	内訳			件数	内訳		
		映画	テレビ	その他		映画	テレビ	その他
4	19	2	13	4	7	1	5	1
5	21	1	11	9	6	0	3	3
6	17	2	8	7	4	1	2	1
7	11	1	8	2	4	1	3	0
8	23	3	13	7	8	1	5	2
9	15	1	8	6	5	0	3	2
10	14	1	8	5	2	0	1	1
11	22	1	15	6	6	0	5	1
12	15	2	5	8	3	1	3	0
1	18	5	9	4	5	1	3	1
2	19	2	8	9	3	1	1	1
3	15	4	4	7	4	0	2	2
合計	209	25	110	74	57	7	36	15

イ 支援作品一覧

NO	撮影日	種類	作品名	あきる野ロケ出演者	撮影場所
1	平成27年 4月 6日	テレビ情報番組	ゆっくり私時間	KIKI 志暁	石舟橋 瀬音の湯遊歩道
2	4月 9日	テレビドラマ	ちゃんぽん食べたか (第5話)	菅田将暉	小机家住宅
3	4月14日	映画	陽光桜	的場浩司	小和田路地 スタジオカプリ
4	4月15日	テレビニュース	デイリーニュース	平山あや 小林星蘭	小庄の桜
5	4月22日	テレビ情報番組	昼めし旅	磯山さやか	松村精肉店 他
6	4月25日	テレビドラマ	天使と悪魔 (第5話)	剛力彩芽 渡部篤郎	市役所別館 五日市出張所
7	5月12日	テレビ情報番組	散策のすすめ	三ツ木清隆	秋川溪谷 徳雲院 瀬音の湯 他
8	5月13日	テレビドラマ	オンナミチ (第7話)	片瀬那奈 渡辺えり	草花公園 草花公園前平井川 河川敷
9	5月18日	テレビバラエティ	はじめまして、旅	千原ジュニア	秋川国際マス釣り場

NO	撮 影 日	種 類	作 品 名	あきる野ロケ 出演者	撮 影 場 所
10	5月18日 5月19日 5月20日 5月26日	ネット配 信ドラマ	フジコ	林田麻里 伊藤 星 谷村美月 真野響子	小宮ふるさと 自然体験学校
11	5月28日	テレビ 情報番組	特ダネ		秋川溪谷
12		スチール	(コスプレ撮影)		沢戸橋付近
13	6月 8日	テレビ 情報番組	なないろ日和		南沢あじさい山
14	6月 9日	ネット配 信動画	超絶☆恋する 7分間	小鷹狩百花 (Cheeky Parade)	二宮神社
	6月16日			松田美里 (わーすた)	リバーサイド パークーの谷
15	6月17日	テレビ バラエティ	路線バスで寄 り道の旅	徳光和夫 田中律子 はしのえみ	秋川溪谷
16	6月22日	イベント映像	AVC ライブ & イベント産業 展用 4K 映像	高村保裕	広徳寺
17	6月23日	映画	ちはやふる		(エキストラ 募集)
18	6月24日	テレビ ドラマ	表参道高校合 唱部 (第1話)		屋城公園
19	7月 9日	テレビ ドラマ	山岳刑事4	小野真弓 羽場裕一	天王岩
20		テレビ バラエティ	ファミリーヒ ストリー		深沢溪自然人 村 キャンプ場
21	8月 4日	テレビ バラエティ	開運!なんでも 鑑定団		秋川キララホール
22		テレビ ワイドショー	ZIP!		(情報提供)
23	8月 5日	テレビ バラエティ	くりいむしち ゆーのハナタ カ! 優越館		(情報提供)
24	8月 8日	テレビ バラエティ	ザ!鉄腕!D A S H!!	城嶋茂 国分太一	秋川 (横沢付近)
25	8月10日 8月16日 8月17日	テレビ 教育番組	なりきり!む ーにゃん生き もの学園		(情報提供)
26	8月17日	テレビ ドラマ	日本のヴァイ オリン王 鈴木政吉物語	武田真治 笛木優子 中村ゆり	小机家住宅
27	8月18日	映画	葛城事件	三浦友和 南果歩	中央公民館 秋川健康会館
28	8月26日 8月27日 8月28日 8月29日 8月30日 8月31日 9月 1日	映画	第9条	南圭介 馬場良馬 はねゆり 森レイ子	五日市交流セ ンター

NO	撮影日	種類	作品名	あきる野ロケ 出演者	撮影場所
29	8月28日	雑誌 (スチール、動画)	Popteen (10月号)		小宮ふるさと 自然体験学校
30	9月7日	イベント	(コスプレイベント)		(情報提供)
31	9月10日	デジタル百貨辞典 (教育写真・動画)	学研ニューワイド学習百科事典		小宮ふるさと 自然体験学校
32	9月15日	テレビ 教育番組	すイエんサー		秋川体育館
33	9月16日	カレンダー (スチール)	樽美酒研二 カレンダー	樽美酒研二 (ゴールデンボンバー)	あきる野市民 球場
34	9月24日	テレビ 報道番組	NHK ニュース		本庁舎屋上よりあきる野市 全景
35	9月24日	テレビ			(情報提供)
36	10月23日	ネット 配信動画	超絶☆恋する 7分間	内村莉彩 (SUPER☆GIRLS)	中央図書館
37	11月8日	テレビ バラエティ	オモクリ監督	ロバート秋山	あきる野ルピア
38	11月10日	テレビ ワイドショー	PON!	朝比奈彩 原田ゆか 窪真理	石舟橋 瀬音の湯 大岳沢 他
39	11月11日	ネット 配信動画	超絶☆恋する 7分間	小玉梨々華 (わーすた)	小宮ふるさと 自然体験学校
40	11月21日	テレビ ワイドショー	ZIP!		沢戸橋付近 佳月橋上流 石舟橋付近
41	12月1日	ネット 配信動画	馬ちゃんの即 PAT で馬券を 買って見た	藤岡弘	小宮ふるさと 自然体験学校
42	12月12日	テレビ ドラマ	スペシャリスト	夏菜	五日市出張所
43	1月4日 1月5日	テレビ 情報番組	首都圏ネット ワーク	佐藤俊吉アナ ウンサー	秋川溪谷 竹内牧場 近藤醸造 まるま 瀬音の湯 石舟橋
44	1月9日 1月10日	テレビ 教育番組	なりきり！む ーにゃん生き もの学園		高尾公園
45	1月12日	新聞 (web版)	サンケイリビ ング		(画像提供)
46	1月23日	テレビ ドラマ	土曜ワイド劇 場「弁護士 倉沢由法の事 件ファイル」	仲村トオル 戸田菜穂	五日市出張所
47	2月1日 2月4日	テレビ ドラマ	螻蛄(けら) (第5話)	北村一輝 濱田 岳	法林寺
48	2月5日	映画	Please, Please, Please	佐藤永典 佐藤流司	五日市出張所 2階廊下

NO	撮 影 日	種 類	作 品 名	あきる野ロケ 出演者	撮 影 場 所
49	2月6日 2月7日	テレビ ドラマ	鎖	小池栄子 高橋克実 篠田麻里子	五日市出張所
50	2月13日 2月29日 3月1日 3月6日	テレビ ドラマ	クロスロード	館ひろし 西村雅彦 徳重聡	五日市出張所
51	2月21日 2月23日	テレビ ドラマ	ヒポクラテスの誓い	北川景子 尾上松也	五日市出張所
52	2月25日	ネット 配信番組			(情報提供)
53	2月26日	映画 (トレーラー)	沖縄ドリーム (マレーシア映画)	イエデル・プトラ 久場雄太	広徳寺 石舟橋
54	2月26日	テレビ 情報番組	NEWS ZERO		(情報提供)
55	3月12日	テレビ バラエティ	トリハダマル 秘スクープ 映像100科ジ テン		光厳寺 山門前 の桜、境内(本 堂前～山門)
56	3月27日	テレビ 教育番組	なりきり!む ーにゃん生き もの学園		菅生交流会館
57	3月28日	ネット 配信動画	ミュージック ビデオ「脱水 少女」	藤岡みなみ	小宮ふるさと 自然体験学校

ウ 撮影における直接経済効果

総額 1,645,598円

(ア) 市施設使用料収入

- a 使用施設 中央公民館、秋川体育館、あきる野市民球場
- b 使用回数 3回
- c 使用料総額 158,800円
- d 各回の平均使用料 52,933円

(イ) 寄付

- a 指定寄付 小宮ふるさと自然体験学校、五日市出張所
- b 回数 4回
- c 寄付金額 340,000円

(ウ) 民間施設使用料

- a 使用施設 地区会館・個人住宅・駐車場等
- b 使用箇所 5箇所
- c 使用料総額 388,000円
- d 各箇所の平均使用料 77,600円

(エ) 市内業者へのロケ弁当注文

- a 注文回数 28回
- b 総注文数 1,104食
- c 各回平均注文数 約39食
- d 注文総額 758,798円



e 各回平均注文額 約 27,100円

エ 撮影における間接効果

(ア) 当市の認知度ならびに好感度の向上

テレビをはじめとしたメディアに当市が取り上げられ、当市の自然環境を広く伝えることで、当市の一般的な認知度並びに好感度を高めた。

(イ) 郷土愛の醸成

テレビをはじめとしたメディアに当市が取り上げられることで、当市民が地元の良さを見直し、地元への誇りを向上させた。

(ウ) 市民の交流

当市でのテレビや映画などの撮影に際し、市民の協力を得ることで、市民に共通の話題並びに交流を促した。

(2) 映像提供

フィルムコミッション係で独自に撮影し、保存している市内景勝地などの動画素材をテレビ番組に提供した。

NO	申請日	使用媒体	提供映像内容
1	平成27年 5月12日	J:COM 八王子 散歩のすすめ	蛍
2	7月31日	テレビ東京 開運!なんでも鑑定団	1 石舟橋下飛込み 2 秋川橋河川公園バーベキューランドでのバーベキュー
3	11月13日	日本テレビ PON!	秋川溪谷の紅葉の映像

2 市内の記録撮影

フィルムコミッション係で市内の風景ならびにイベントの動画撮影を下記の通り行った。

(1) 市内風景等の記録撮影

NO	撮影日	撮影場所	撮影内容
1	平成27年 4月 6日	大悲願寺裏・横沢入	陽光桜・オタマジャクシ
2	4月 8日	山抱きの大榎・小庄の桜	春の雪の情景
3	4月28日	新秋川橋付近・青木平橋上流	新緑・「あきる野物語 空色の旅人」(夏シーン) 下見撮影
4	5月25日	青木平橋上流	「あきる野物語 空色の旅人」(夏シーン) リハーサル
5	6月 4日	旧戸倉小学校裏	モリアオガエルの卵
6		佳月橋下流	アユの水中撮影
7		東秋留橋付近・小和田橋付近・高尾橋上流・佳月橋上流	ドローンによる空撮
8	6月 6日	東秋留橋・圏央道下・高尾橋上流	アユ友釣り解禁
9	7月13日	本庁舎	市制施行20周年記念式典用森井選手インタビュー映像
10	11月20日	石舟橋・青木平橋・軍道・沢戸橋・佳月橋	紅葉
11	平成28年 3月17日	徳雲院・武蔵引田駅・秋川体育館	梅・大寒桜

## (2) 市内イベントの記録撮影

年 月 日	行 事 関 係	実 施 場 所
平成27年 4月19日	秋川溪谷らららパーティ	秋川橋河川公園バーベキューランド
4月26日	ごえん分校フェスティバル	小宮ふるさと自然体験学校
5月 2日 5月 3日	第25回全国地芝居サミット in あきる野	秋川キララホール・秋川キララホール前芝生広場
5月 5日	五日市鉄道開通90周年記念イベント	五日市会館
6月16日	新嘗祭(御田植祭)	小川水田
6月20日	あきる野の奏で2015	南沢あじさい山
6月28日	生物多様性シンポジウム	まほろばホール
7月18日	第31回あきる野映画祭(映像市・野外上映)	まほろばホール・小和田グラウンド
7月23日 7月24日 7月25日 7月26日	第31回あきる野映画祭	五日市会館
8月15日	小和田花火大会	秋川橋河川公園バーベキューランド
8月30日	市制施行20周年記念式典	秋川キララホール
9月19日	伊奈本町山車人形立上げ	伊奈本町
9月21日	阿伎留神社例大祭(渡御300年祭式典)	五日市会館
9月28日 9月29日 9月30日	阿伎留神社例大祭	開光院・阿伎留神社・五町内各所・檜原街道
10月 4日	新嘗祭(抜穂祭)	小川水田
10月11日	ふれあい祭り(芋煮と伝統漁法)	リバーサイドパーク 一の谷
11月14日	「あきる野物語 空色の旅人」一般劇場公開初日舞台挨拶	イオンシネマ日の出
11月25日	イルミネーション点灯式(秋川)	秋留野広場
11月27日	イルミネーション点灯式(五日市)	武蔵五日市駅前
平成28年 1月16日	「あきる野物語 空色の旅人」「五日市物語」W上映会	秋川キララホール
2月 3日	阿伎留神社節分祭	阿伎留神社
2月13日	「あきる野物語 空色の旅人」アンコール上映初日舞台挨拶	イオンシネマ日の出
3月10日	インバウンド講座(初日)	まほろばホール
3月23日	インバウンド講座(2日目)	まほろばホール

## 3 市制施行20周年記念映画制作

## (1) 市制施行20周年記念映画制作

市制施行20周年を記念した映画「あきる野物語 空色の旅人」を制作した。四季を通じた市内の風景映像を中心に、ドラマ部分のシーンと全編にナレーションが加わる構成となっている。映画の制作はフィルムコミッション係を中心に市役所の職員と市内の映画制作グループ「五日市キネマ団」のメンバーで行った。

ドラマ部分の撮影は各季節に1回ずつ行ったが、平成27年度は下記のとおり春パートと夏パートの撮影を行った。

ア 春パート

撮影日	平成27年4月15日
場所	山抱きの大榿（深沢）、桜並木（小庄）
内容	1 大榿で少女（春香）が天使を見つける。 2 桜並木を歩く親子（春香とその母）が天使に似た女性とすれ違う。
出演者（役名）	平山あや（天使）、小林星蘭（春香）、俵野枝（春香の母）

イ 夏パート

撮影日	平成27年5月27日
場所	河原（青木平橋上流）
内容	河原でバーベキューを楽しむ家族。川で遊ぶ子どもの1人（夏夫）が天使を見つける。
出演者（役名）	平山あや（天使）、芦田瑛太（夏夫）、大坊健太（夏夫の父）

(2) 市制施行20周年記念映画上映

市制施行20周年記念映画「あきる野物語 空色の旅人」を下記の通り一般劇場等で上映した。

総入場者数 2,849人

ア 市制施行20周年記念式典（秋川キララホール）

- (ア) 挙行日 平成27年8月30日
- (イ) 舞台挨拶 登壇者 平山あや・小林星蘭
- (ウ) 入場者数 632名（1、2部合計）

イ 一般劇場（イオンシネマ日の出）

- (ア) 上映期間 平成27年11月14日から平成27年11月30日（計17日）
- (イ) 舞台挨拶 登壇者 平山あや
- (ウ) 入場者数 1,142名

ウ 「あきる野物語 空色の旅人」「五日市物語」W上映会（秋川キララホール）

- (ア) 上映日 平成28年1月16日
- (イ) 入場者数 362名

エ 一般劇場（イオンシネマ日の出）※アンコール上映

- (ア) 上映期間 平成28年2月13日から平成28年3月4日（計21日）
- (イ) 舞台挨拶 登壇者 小林星蘭
- (ウ) 入場者数 713名

4 宣伝広告

(1) 「あきる野物語 空色の旅人」DVD作成

市内外のより多くの人に映画「あきる野物語 空色の旅人」を鑑賞してもらうために、同DVDを1,000枚作成し、市制施行20周年記念式典では来賓者向けに約500枚配布した。

(2) インターネットの活用

映像制作者を対象に市内のロケーションなどを紹介するフィルムコミッション係（「あきる野フィルムコミッション」）専用ホームページを運営している。また、市内のロケーションを強力に発信していくためフィルムコミッション係専用動画配信チャンネル（YouTube）を運営している。

ア 「あきる野フィルムコミッション」ホームページ統計データ

(ア) 期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日(366日)

(イ) 閲覧者数(月平均) 8,315人(約693人)

(ウ) ページ閲覧数 35,405回(複数回閲覧者含む)

(エ) 各閲覧者の平均ページ閲覧数 約4回

イ 「あきる野フィルムコミッション」動画配信チャンネル(YouTube)統計データ

(ア) 期間:平成27年4月1日～平成28年3月31日(366日)

(イ) 視聴回数 6,052回

(ウ) 掲載動画数 27本(平成28年3月31日現在)

(エ) チャンネル登録者数 16人(平成28年3月31日現在)

## 5 独自映像制作

### (1) 「あきる野物語 空色の旅人」メイキング

映画「あきる野物語 空色の旅人」のDVD特典映像としてメイキング作品を制作した。

作品分数	23分
内容	映画「あきる野物語 空色の旅人」制作の様子について

### (2) 「青い目の人形 シャロンちゃん」

戸倉しろやまテラスのオープンに合わせて、独自の映像作品を制作した。

作品分数	14分
内容	戦前に米国から贈られた1万2千体の「青い目の人形」の1つで、戦中も旧戸倉小学校で保管されていた人形「シャロン」について